

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	共通 09 R4
提出年月日	令和3年7月16日

設工認に係る補足説明資料

申請対象設備の選定

【R4 改正内容】

- 「申請対象設備の抽出結果」の追加
- 体裁の修正等

目 次

1. 概要	1
2. 設工認申請対象設備の選定	1
3. まとめ	3

1. 概要

再処理施設、MOX燃料加工施設に関する「共通06：本文（基本設計方針、仕様表等）、添付書類（計算書、説明書）、添付図面で記載すべき事項」に示す設工認申請対象設備の選定の基本的な考え方にに基づき実施する選定作業について補足説明するものである。

2. 設工認申請対象設備の選定

(1) 設工認申請対象設備の選定の考え方

- a. 設工認申請の対象となる設備は、基本設計方針の要求種別を踏まえ、事業変更許可申請書で担保した事項を実現するための設備（許可整合）、および、技術基準の要求事項を満足するための設備（技術基準適合）を選定する。
- b. 基本設計方針の要求種別が機能要求②に関係する設備は、仕様表対象設備となり、それらには機器単体で技術基準への適合や基本設計を達成するものと、系統として技術基準への適合や基本設計を達成するものがあることから、系統として安全機能（設計要件）を達成するものに対して、設備構成情報等を示す設計図書に対する色塗りにより安全機能に関する対象範囲や対象機器を抽出する。
- c. 機能要求②に該当する項目に関する設備を基本設計方針の項目と併せてリスト化するとともに、その中で系統として安全機能（設計要件）を達成するものを明確化し、その対象設備と設計情報（設備構成情報等を示す設計図書）及び色塗り結果とを紐づけすることにより、対象範囲や対象機器の抽出を抜けなく行う。
- d. 設置要求、機能要求①のように機器単体の機能、性能を達成するものについては、機器リスト等の設計図書等を用いて対象設備をリストに纏める。また、基本設計方針の項目ごとの要求種別および該当する対象設備の整理結果については『共通06を受けた個別条文での対応 別紙—2「基本設計方針の申請書単位での展開表」』へ反映する。
- e. しゅん工または試験運転中の再処理施設、廃棄物管理施設については、今回の設工認における変更事項を申請対象とするため、「共通02 事業変更許可申請書で新規制基準を受けて追加等した項目の明確化」、「共通03（技術基準規則）新規制基準を受けて追加等された要求事項及び変更等した項目の明確化」で変更ありとした事項と基本設計方針との紐づけにより変更となる基本設計方針の機能要求②を抽出することにより、変更申請で明確にすべき仕様表対象となる機器等を抽出する。既設工認から変更のない仕様表対象設備については、適正化を行う必要性を評価した上で、抽出作業を実施する。
- f. なお、試験運転中の再処理施設については、新規制基準を受けて新たに追加する機器以外は、設工認の認可を得ており、上述の安全機能（設計要件）との関係を踏まえると必須ではない機器等も系統説明図において基本設計方針対象設備として申請対象となっている。このため、検査対象機器の範囲を明確化することを目的として、改めてこの関係性について既工認の系統説明図等を含めて設工認申請対象と

なる設備等の抽出を行う。

(2) 申請対象設備の具体的な抽出手順

申請対象設備の抽出については、以下の手順で行う。

a. 設備の分類

- (a) 基本設計方針で整理した主要な設備と要求種別（機能要求②）について「系統として機能、性能を達成するもの（例：プール水冷却／換気／圧縮空気等）」と「機器単体で機能、性能を達成するもの（例：電気盤／計器／放管モ
- (b) ニタ等）」に分類する。
- (c) この際、基本設計方針と要求種別、対象設備と併せて、基本設計方針の項目ごとに技術基準の条項と紐づけを行い、色塗りを行う系統との関係を明確にする。

b. 色塗りによる設備の抽出

- (a) 系統として機能、性能を達成するものは、要求される機能、性能を達成するために必要となる主要機器、配管等を主流路として設定し、系統図（設計図書等）に主流路上の機器、配管等の色塗り等を行う。なお、テストライン、バイパスライン、ベント・ドレンライン等は主流路の対象としない。
- (b) 系統として機能、性能を達成するものを抽出する際は、要求される機能、性能を達成するために必要な関連設備（電気設備、計装設備等）も合わせて抽出作業を行う。
- (c) 主配管、ダクトは、用途（機能）、使用範囲等を明確にするため、設計基準対象施設のみ境界、重大事故等対処設備のみ境界、兼用設備の境界等がわかるように色塗り等を行う。
- (d) 機器単体で機能、性能を達成するものについては、機器リスト（設計図書等）に色塗り等を行う。
- (e) 色塗り等を行ったエビデンス設計図書等（色塗り系統図等）を取り纏め、設備ごとの事業変更許可及び技術基準規則との関係、既設工認からの変更等を整理表等で整理し、選定ガイドに沿って抜け漏れなく抽出できていることを確認する。

c. 抽出結果の設備リストへの反映

- (a) 抽出した対象設備はリスト化する。
- (b) 抽出した機器等をリストに反映する際には配管やダクト、設備一式を設置するもの、インターロック等は以下に示すとおり記載する。
 - イ) 配管及びダクトは説明対象となる技術基準適合性の項目が同じものは from-to で分解せず、「主配管 一式」として記載する。
 - ロ) 設備一式を設置することで適合性を示すものも「〇〇設備 一式」として記載する。

ハ) 計装設備のインターロックは、作動させる検出端となる計器と機器の停止等の動作に係るインターロック（停止回路等）の各々について仕様表を作成するため、計器とインターロックはリスト上分けて記載し、インターロック側で検出端となる計器との紐づけが分かるように記載する。

（例：温度高により加熱蒸気を停止するインターロック（〇〇蒸発缶温度））

(c) なお、設計進捗等によりリストの変更が必要になった場合は、リストの見直しを実施する。

(3) 申請対象設備選定の結果

『共通 06 を受けた個別条文での対応 別紙－2 「基本設計方針の申請書単位での展開表」』からの申請対象設備選定結果を別紙－1 に示す。

3. まとめ

各条文の『共通 06 を受けた個別条文での対応 別紙－2 「基本設計方針の申請書単位での展開表」』に係る作業結果を踏まえ、適宜、申請対象設備リストの見直しを行い、以下の共通資料へ反映する。

- (1) 申請対象設備の抽出結果を「共通 0 4 分割申請における考え方」へ反映する。
- (2) 申請対象設備の抽出結果を設備リストにて整理し、「共通 0 5 工事工程等を踏まえた分割申請計画（分割申請数、申請予定時期、分割の理由）」へ反映する。

以 上

別紙

共通 09 【申請対象設備の選定】

別紙				備考
資料 No.	名称	提出日	Rev	
別紙 1-1	申請対象設備の抽出作業結果（再処理） 11 条：火災等による損傷の防止 35 条：火災等による損傷の防止	07/16	0	
別紙 1-2	申請対象設備の抽出作業結果（MOX） 11 条：火災等による損傷の防止 29 条：火災等による損傷の防止	07/16	0	

令和3年7月16日 R0

別紙 1-1

申請対象設備の抽出作業結果（再処理）

11 条：火災等による損傷の防止

35 条：火災等による損傷の防止

1. 申請対象設備リスト
2. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止 ; 化学的制限値)
3. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止 ; 有機溶媒火災対策)
4. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止 ; 熱的制限値)
5. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止 ; 水素ガス対策)
6. 申請対象設備抽出結果 (安全圧縮空気系)
7. 申請対象設備抽出結果 (消火用水供給設備)
8. 申請対象設備抽出結果 (不活性ガス消火設備)
9. 申請対象設備抽出結果 (ハロゲン化物消火設備)
10. 申請対象設備抽出結果 (火災影響軽減設備)

申請対象設備リスト

11 条：火災等による損傷の防止

35 条：火災等による損傷の防

追而

別紙 1-2

申請対象設備の抽出作業結果 (MOX)

11 条：火災等による損傷の防止

29 条：火災等による損傷の防止

1. 申請対象設備リスト
2. 申請対象設備抽出結果 (火災防護設備 窒素消火装置)
3. 申請対象設備抽出結果 (火災防護設備 二酸化炭素消火装置)
4. 申請対象設備抽出結果 (火災防護設備 グローブボックス消火装置)

申請対象設備リスト

11 条：火災等による損傷の防止

29 条：火災等による損傷の防止

申請対象設備リスト

「番号」については、他条文等の整理を踏まえ、申請対象設備リスト完本時に通し番号を設定することとする。

番号	施設区分		設備区分				機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)
	加工施設 本体	成形施設	—	—	—	—												
	加工施設 本体	成形施設	—	—	—	—	燃料加工建屋	建物・構築物 (間接支持構造物) 遮蔽設備 火災区域構造物 建物・構築物 (堰)	11条/29条-8	—	—	—	1	新設	非安重※ ※一部の工程 室は安重	—	—	—
	加工施設 本体	成形施設	ペレット加 工工程	焼結設備	—	—	焼結炉	焼結設備	11条/29条-27	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	3	3	新設	安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	消火水供給 設備	消火用水貯槽	容器(環状型, 円筒型, 板 状型, 角柱型)	11条/29条-99 11条/29条-101 11条/29条-102	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	—	再処理 (MOX従)
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	消火水供給 設備	ろ過水貯槽	容器(環状型, 円筒型, 板 状型, 角柱型)	11条/29条-99 11条/29条-101 11条/29条-102	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	—	再処理 (MOX従)
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	消火水供給 設備	電動機駆動消火ポンプ	ポンプ	11条/29条-103	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	—	再処理 (MOX従)
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	消火水供給 設備	ディーゼル駆動消火ポンプ	ポンプ	11条/29条-103	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	—	再処理 (MOX従)
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 ~ 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4	容器(環状型, 円筒型, 板 状型, 角柱型)	11条/29条-99 11条/29条-131 11条/29条-134	系統_窒素消火_機器_1~18	燃料加工建屋	18	2	新設	非安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	主配管(常設)	主配管	11条/29条-99 11条/29条-131 11条/29条-134	系統_窒素消火_配管_1~28	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器 ユニット-1 ~ 非常用発電機消火用起動用ガス容器ユニッ ト-2	容器(環状型, 円筒型, 板 状型, 角柱型)	11条/29条-99 11条/29条-132	系統_CO2消火_機器_1~4	燃料加工建屋	4	2	新設	非安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	主配管(常設)	容器(環状型, 円筒型, 板 状型, 角柱型)	11条/29条-99 11条/29条-132	系統_CO2消火_配管_1~15	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 ~ GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4	容器(環状型, 円筒型, 板 状型, 角柱型)	11条/29条-99 11条/29条-100	系統_GB消火_機器_1~12	燃料加工建屋	12	2	新設	安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	主配管(常設)	主配管	11条/29条-99 11条/29条-100	系統_GB消火_配管_1~45	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	防火水槽	容器(環状型, 円筒型, 板 状型, 角柱型)	11条/29条-101	今後実施 (設計中)	屋外	1式	3	新設	非安重	—	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	実験設備	小規模試験 設備	—	—	小規模焼結処理装置	機械装置	11条/29条-27	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1	3	新設	安重	—	—	—

申請対象設備抽出結果

施 設	その他の加工施設
設 備	非常用設備 火災防護設備 消火設備
機 器	窒素消火装置

	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	
【対象機器】	その他加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置
【主たる機能】	室内消火						

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-151	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-152	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-153	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-154	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
5	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-155	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
6	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-6	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-156	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
7	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-7	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-157	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
8	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-8	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-158	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
9	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-161	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
10	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-162	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
11	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-163	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
12	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-164	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
13	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-165	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
14	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-6	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-166	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
15	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-171	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
16	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-2	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-172	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
17	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-3	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-173	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-089 R0参照
18	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 角柱型)	GU-201	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	技連PM-0100-1445-079 R0参照

	施設区分	設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置
【主たる機能】	室内消火						

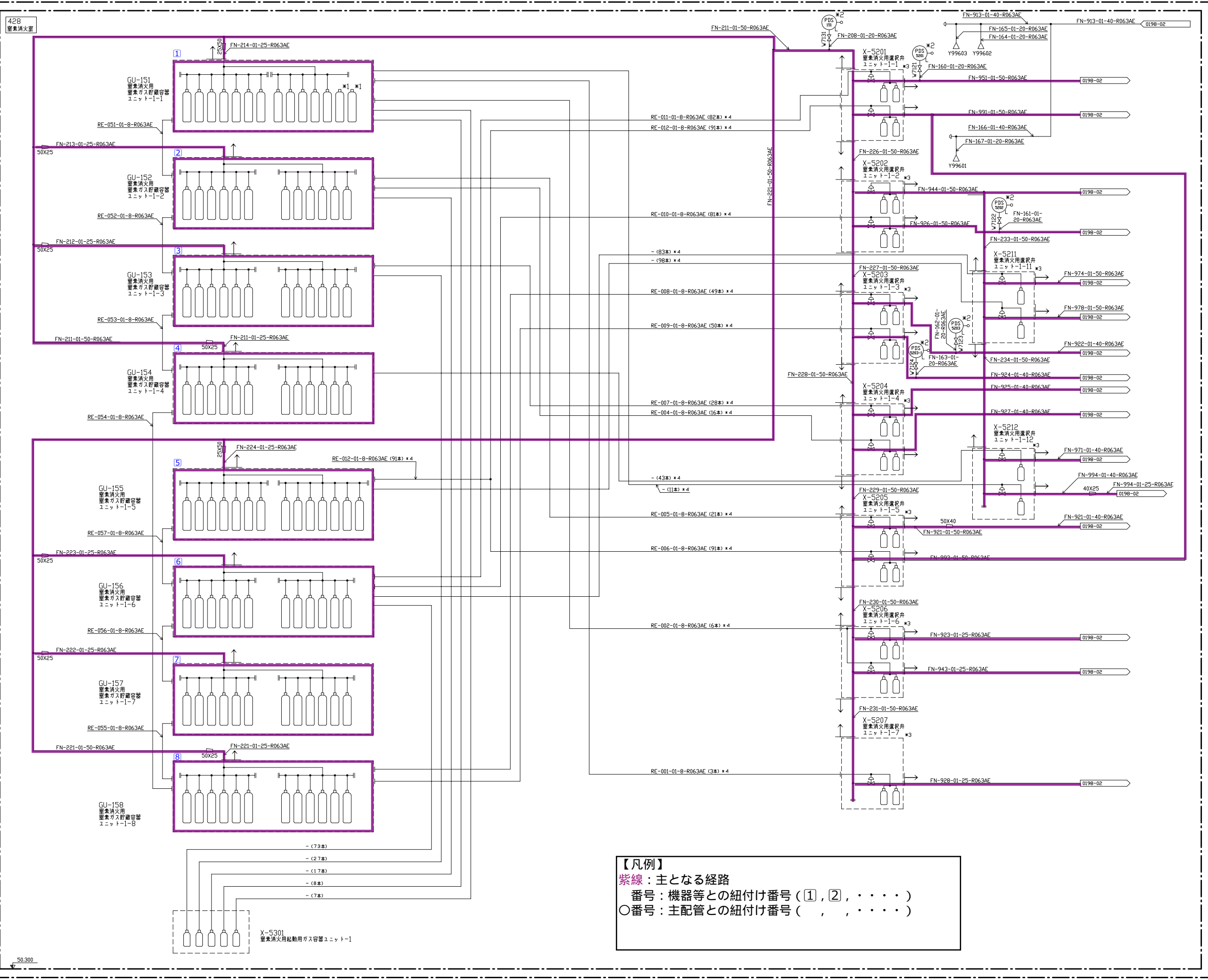
【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分	機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考		
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2, -1-3, -1-4, -1-5, -1-6, -1-7, -1-8 ～ 選択弁ユニットX-5201 ～ 選択弁ユニットX-5202 ～ 選択弁ユニットX-5203 ～ 選択弁ユニットX-5204 ～ 選択弁ユニットX-5205 ～ 選択弁ユニットX-5206 ～ 選択弁ユニットX-5207	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5201 ～ 127ペレット加工第2室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5201, X-5205 ～ 404排風機室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5202 ～ (選択弁ユニットX-5213～X-5214～X-5215) 及び(選択弁ユニットX-5211～X-5212)	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
5	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5213 ～ 302分析第1室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
6	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5214 ～ 312燃料棒解体室及び322燃料棒加工第3室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
7	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5215 ～ 307ペレット立会室及び317ウラン粉末準備室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
8	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5211 ～ 313分析第2室及び314燃料棒加工第1室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
9	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5212 ～ 202貯蔵容器受入第1室及び104貯蔵容器受入第2室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
10	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5202 ～ 120ペレット加工第3室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
11	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5203 ～ (114点検第4室～113ペレット・スクラップ貯蔵室～112点検第3室) 及び116ペレット加工第4室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
12	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5204 ～ 119ペレット一時保管室及び135北第2制御盤室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
13	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5205 ～ 204制御第1室 ～ フリーアクセスフロア	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
14	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5206 ～ 133ダンプ駆動用ポンプ第2室及び(324制御第4室～フリーアクセスフロア)	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
15	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5207 ～ 136南第2制御盤室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—
16	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5212 ～ 414選別作業室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—

1式

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
17	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2, -2-3, -2-4, -2-5, -2-6 ～ (選択弁ユニットX-6201～X-6202～X-6203～X-6209)及び(選択弁ユニットX-6204～選択弁ユニットX-6205～選択弁ユニットX-6206～選択弁ユニットX-6207～選択弁ユニットX-6208)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
18	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6201, X6209 ～ 404排風機室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
19	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6201 ～ 選択弁ユニットX-6211 ～ 315燃料棒加工第2室及び409排気フィルタ第2室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
20	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6202 ～ 321分析第3室及び(109点検第1室～110粉末一時保管室～129点検第2室)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
21	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6203 ～ 126ペレット加工第1室及び125粉末調整第5室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
22	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6204 ～ 102原料受払室及び108粉末調整第1室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
23	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6205 ～ 111粉末調整第6室及び319スクラップ処理室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
24	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6206 ～ 117粉末調整第3室及び118粉末調整第7室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
25	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6207 ～ 121粉末調整第4室及び115粉末調整第2室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
26	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6208 ～ 156ダンプ駆動用ポンペ第1室及び153北第3制御盤室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
27	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1, -3-2, -3-3 ～ 428窒素消火室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
28	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ～ 522中央監視室フリーアクセスフロア	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	

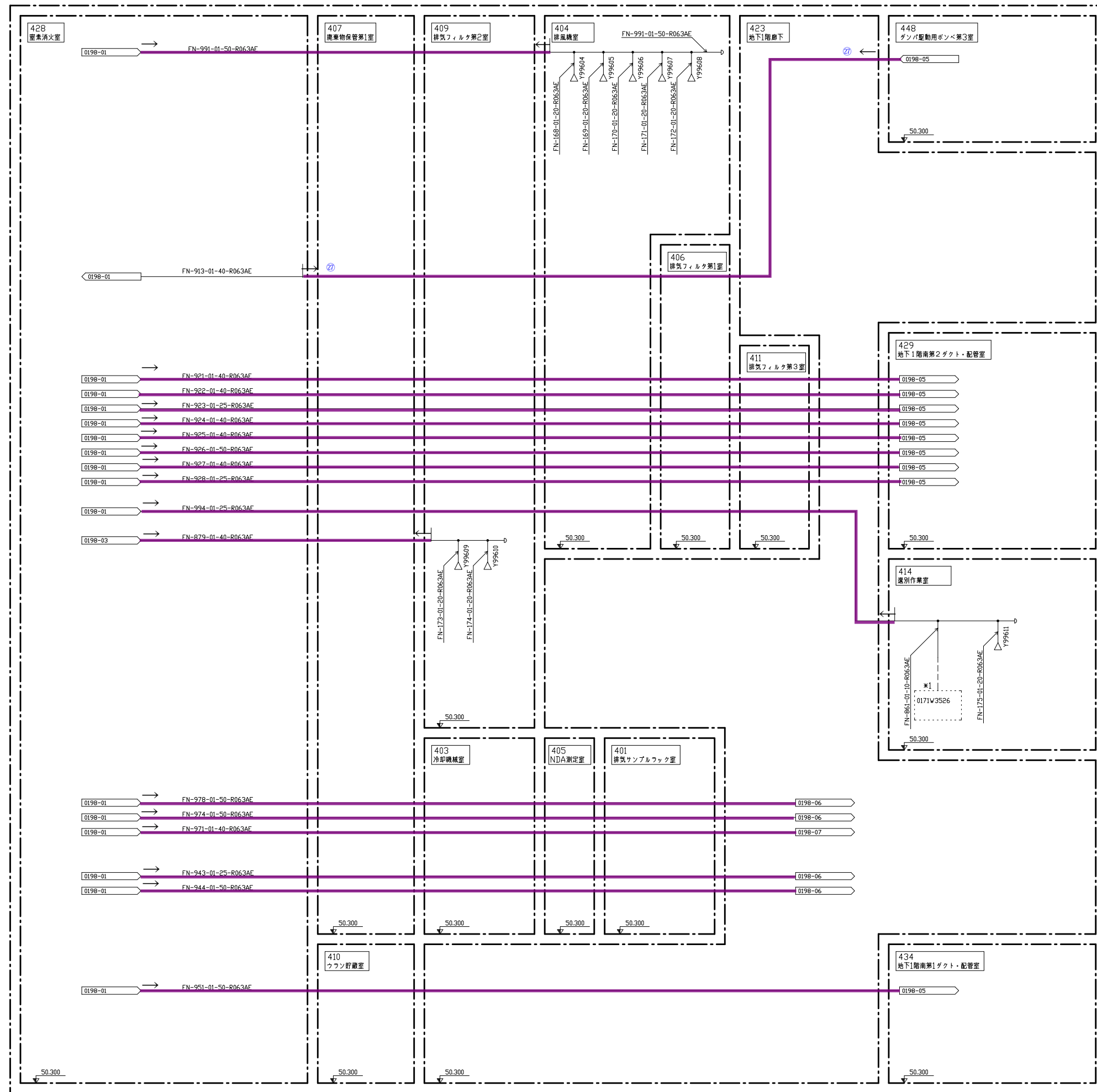


注記

- *1: 窒素ガス加圧容器
- *2: 放出完了信号用
- *3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
- *4: 起動用ガス配管等の導圧配管を示す
例: RE-***-01-8-R063AE (**本) *5
尚、銅管の場合は「-」、(**本)は貯蔵容量開放本数

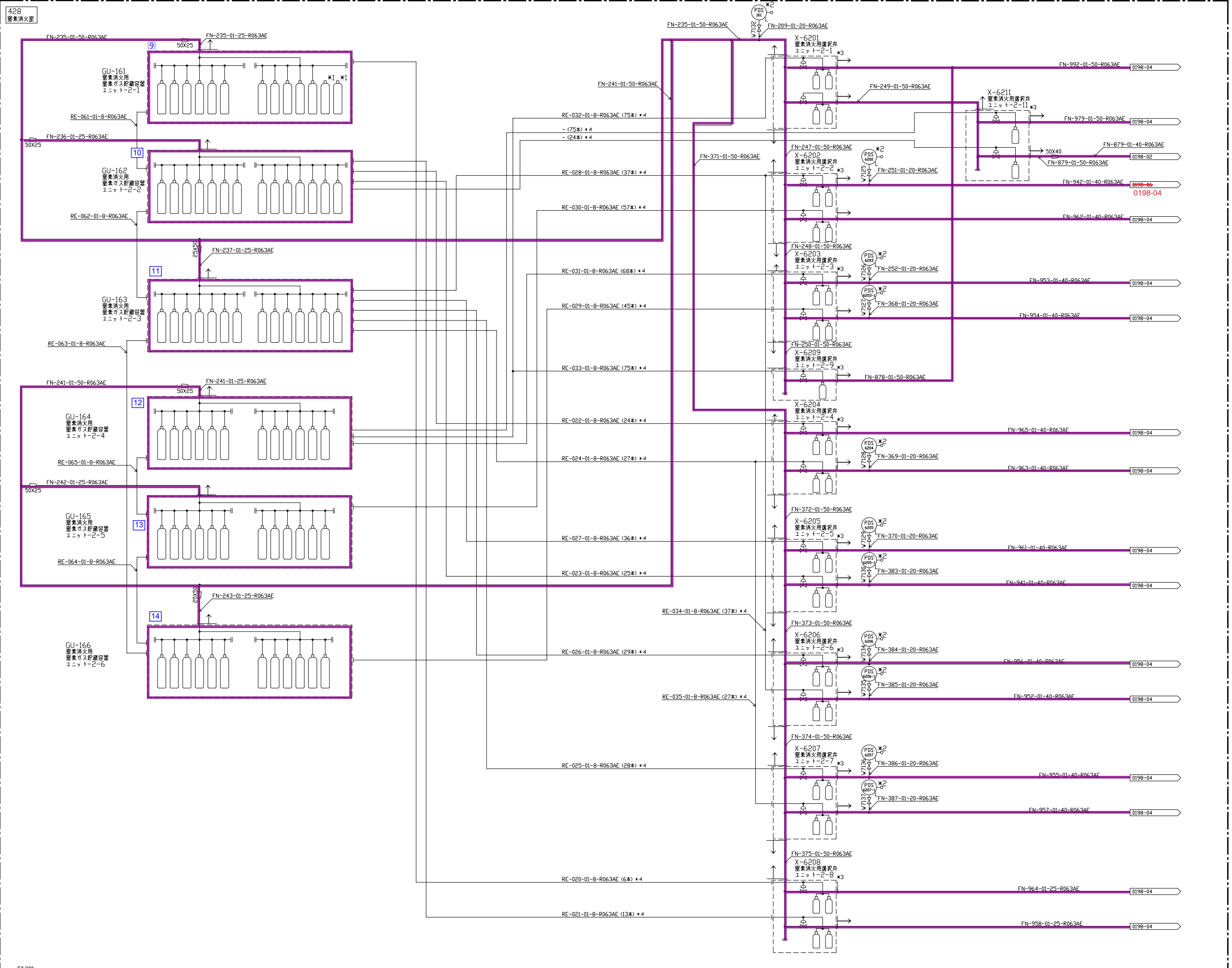
【凡例】
 紫線: 主となる経路
 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)
 ○番号: 主管管との紐付け番号 (, ……)

図番名: 燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (窒素消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198(N2)(1/9)
 図番番号: PM-0198-4421-061 改訂: 5



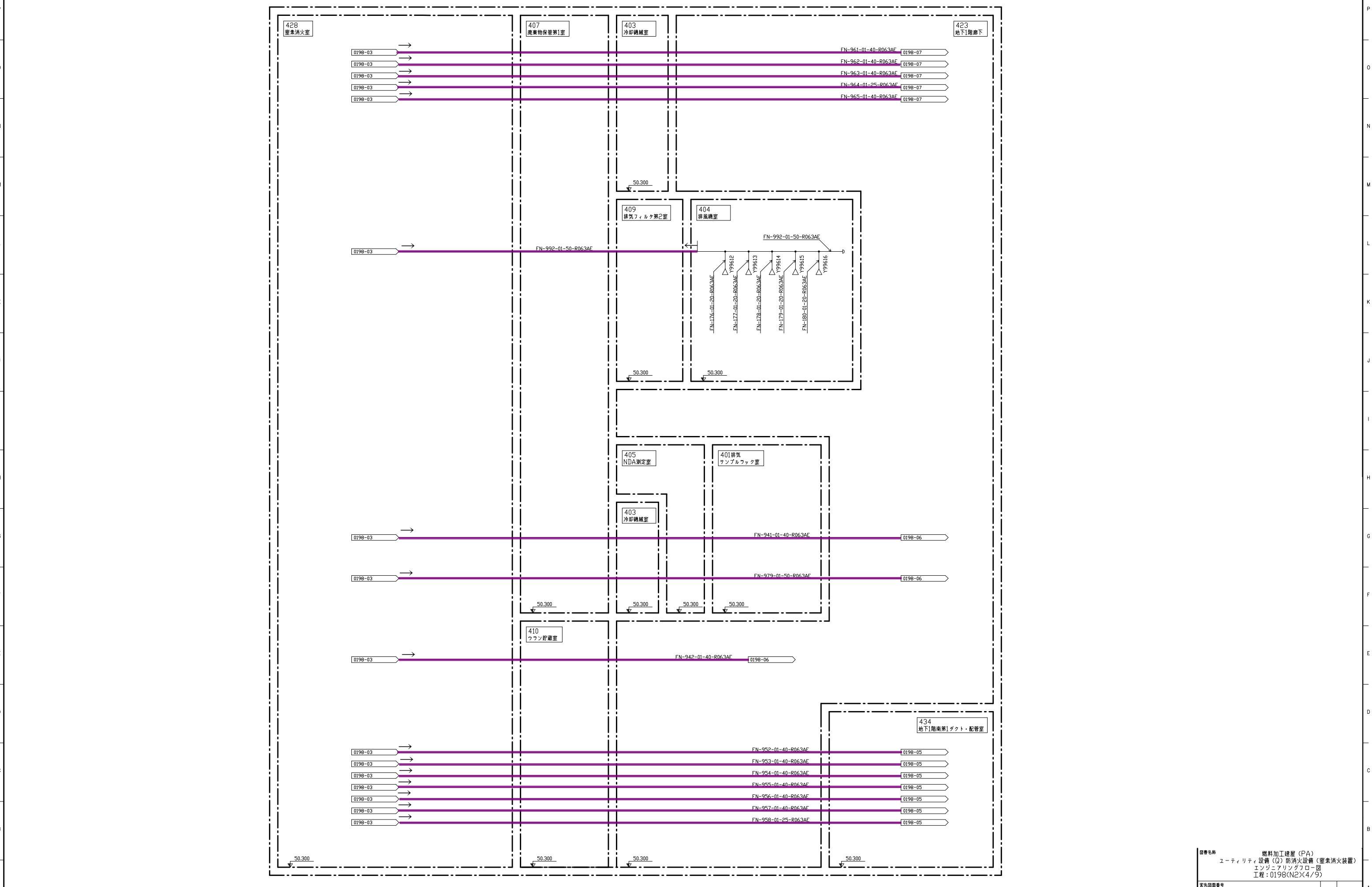
注記
 ※1：室素消火装置のピストンポンプ（PD）駆動用導圧管の表記は以下の通り。
 実設：鋼管（分岐部に設置された短管の端部まで）
 破線：鋼管（短管の端部～PD取り合い部まで）

図書名称	燃料加工建屋（PA） ユーティリティ設備（Q）新消火設備（室素消火装置） エンジニアリングフォロー 工程：0198(N2)X(2/9)		
図号	PM-0198-4421-068	改訂	0

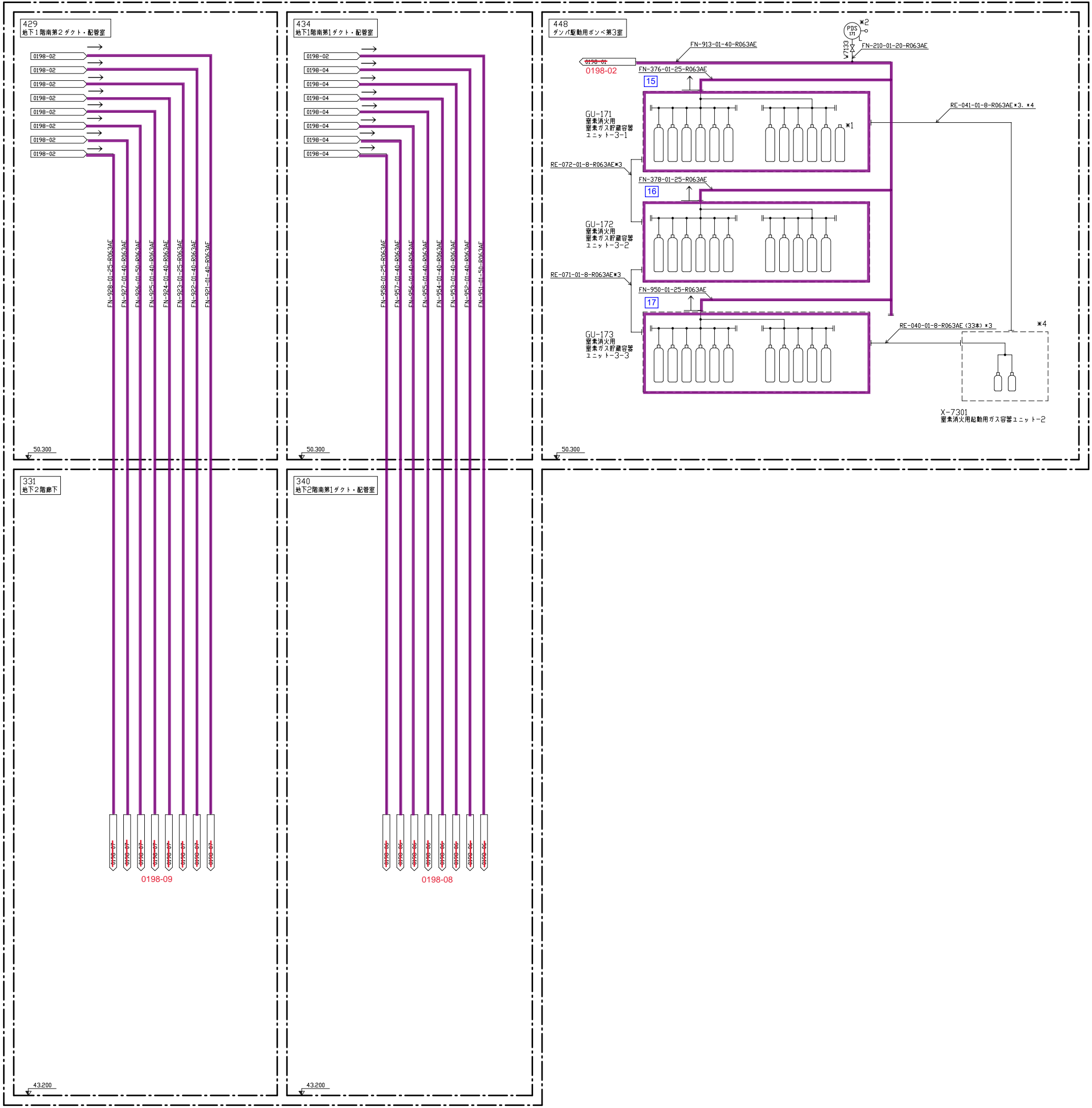


- 注記
- *1: 窒素ガス加圧容器
 - *2: 放出完了信号用
 - *3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
 - *4: 起動用ガス配管等の導圧配管を示す
例: RE-***-01-8-R063AE (***本) *5
尚、銅管の場合は「-」。(***本)は貯蔵容器開放本数

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (窒素消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198(N2)(3/9)		
図番	PM-0198-4421-062	改訂	5

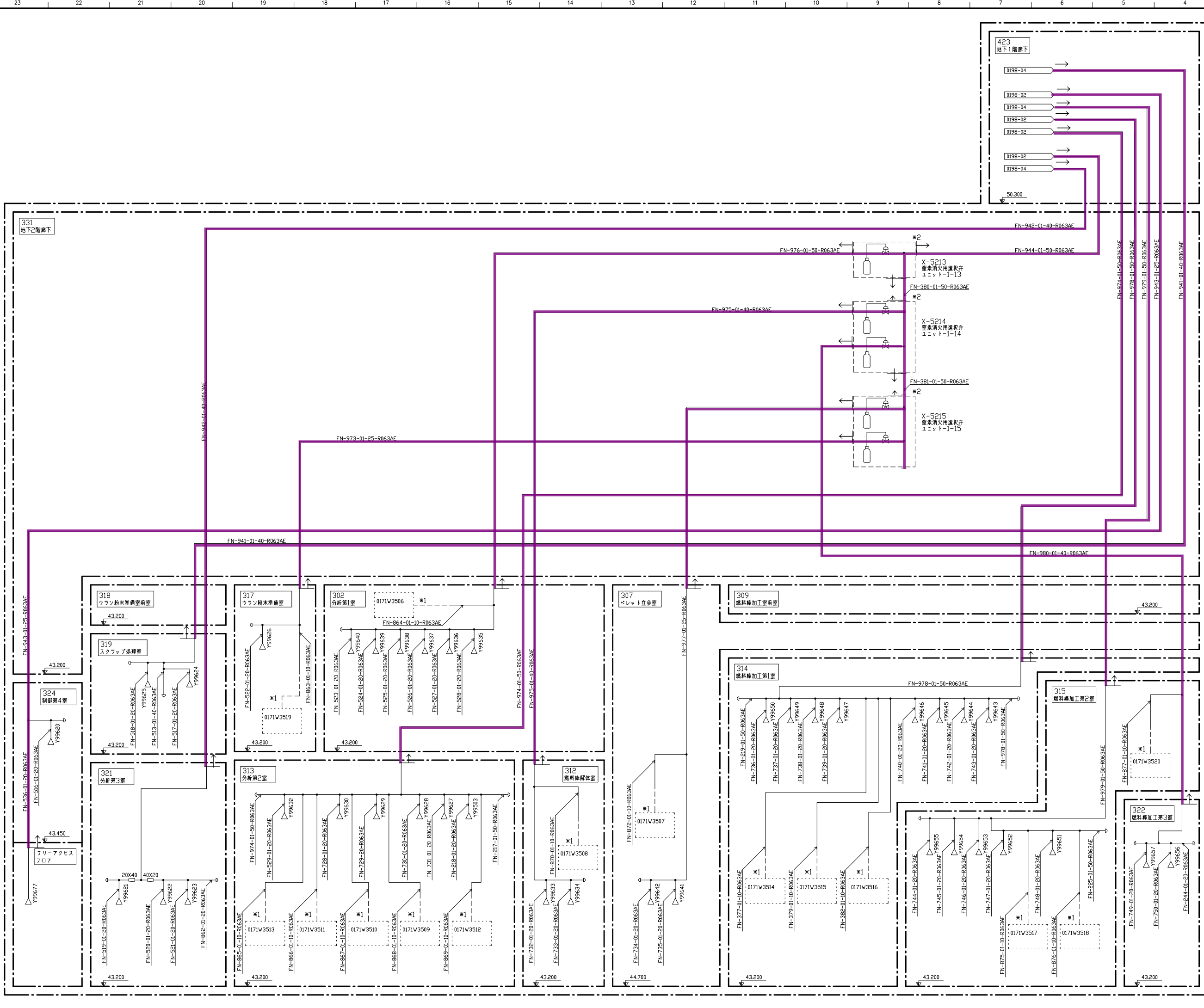


図書名称	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (室兼消火装置) エンジニアリングタワー 工程: 0198(N2)(4/9)		
図書番号	PM-0198-4421-069	改訂	0



- 注記
- *1: 窒素ガス加圧容器
 - *2: 放出完了信号用
 - *3: 起動用ガス配管等の導圧配管を示す
例: RE-***-01-8-R063AE (**本) *3
高、鋼管の場合は「-」. (**本) は貯蔵容器開放本数
 - *4: ・窒素消火用起動用ガス容器ユニット内に
放出信号用圧力スイッチあり。
・当該配管はその圧力スイッチ用の導圧配管。

図書名称	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (窒素消火装置) エンジニアリングタワー部 工程: 0198(N2)X(5/9)		
客先図番	PM-0198-4421-063	改訂	6

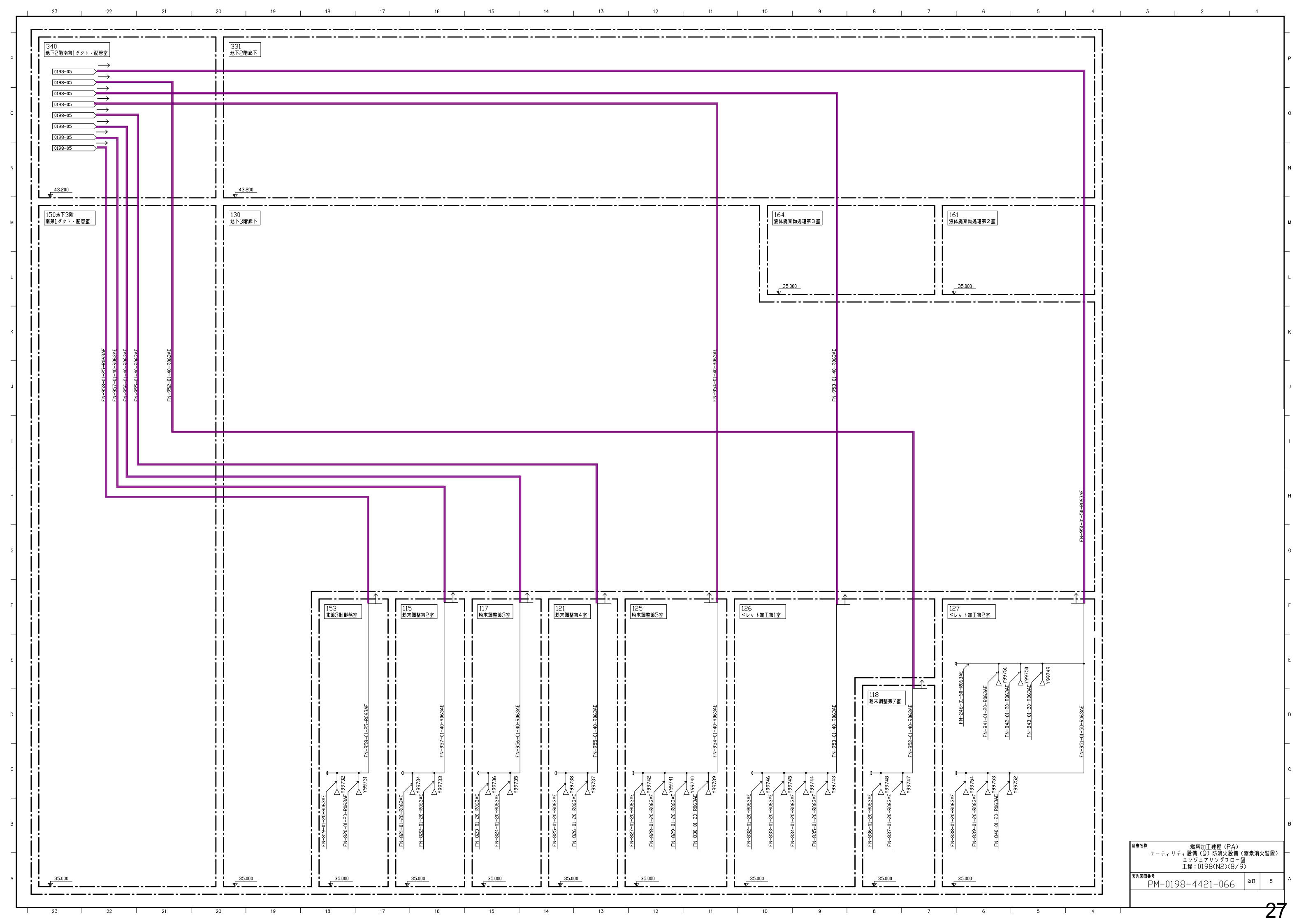


注 記

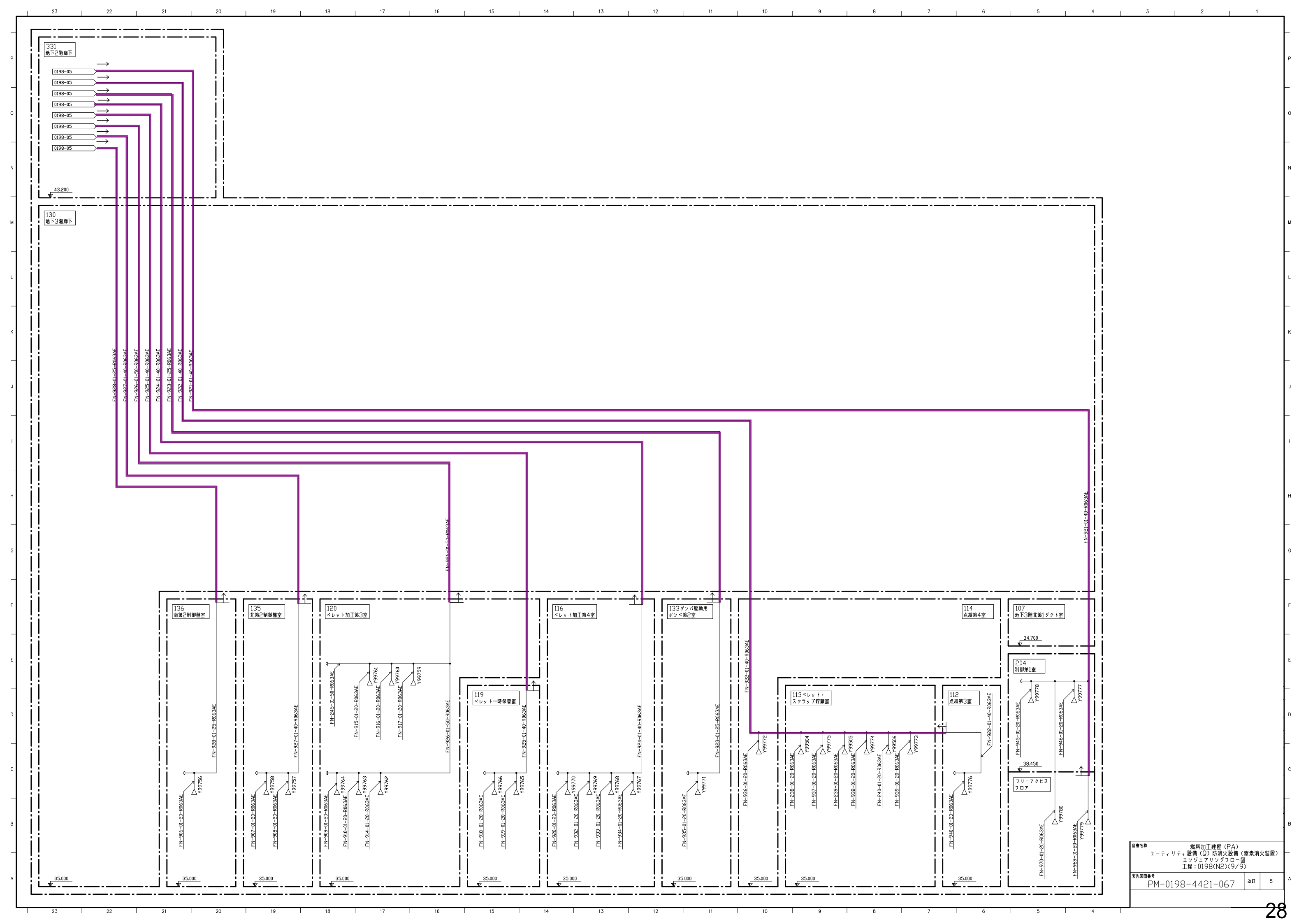
※1: 警報消火装置のピストンバルブ (PD) 駆動用専圧管の表記は以下の通り。
 実線: 幹管 (分岐部に設置された短管の端末まで)
 破線: 副管 (短管の端末部へPD取り合い部まで)

※2: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

図名	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q) 新消防設備 (警報消火装置)	
エンジニアリングフロー図	
工程: 0198(N2)(6/9)	
図番	PM-0198-4421-064
改訂	6



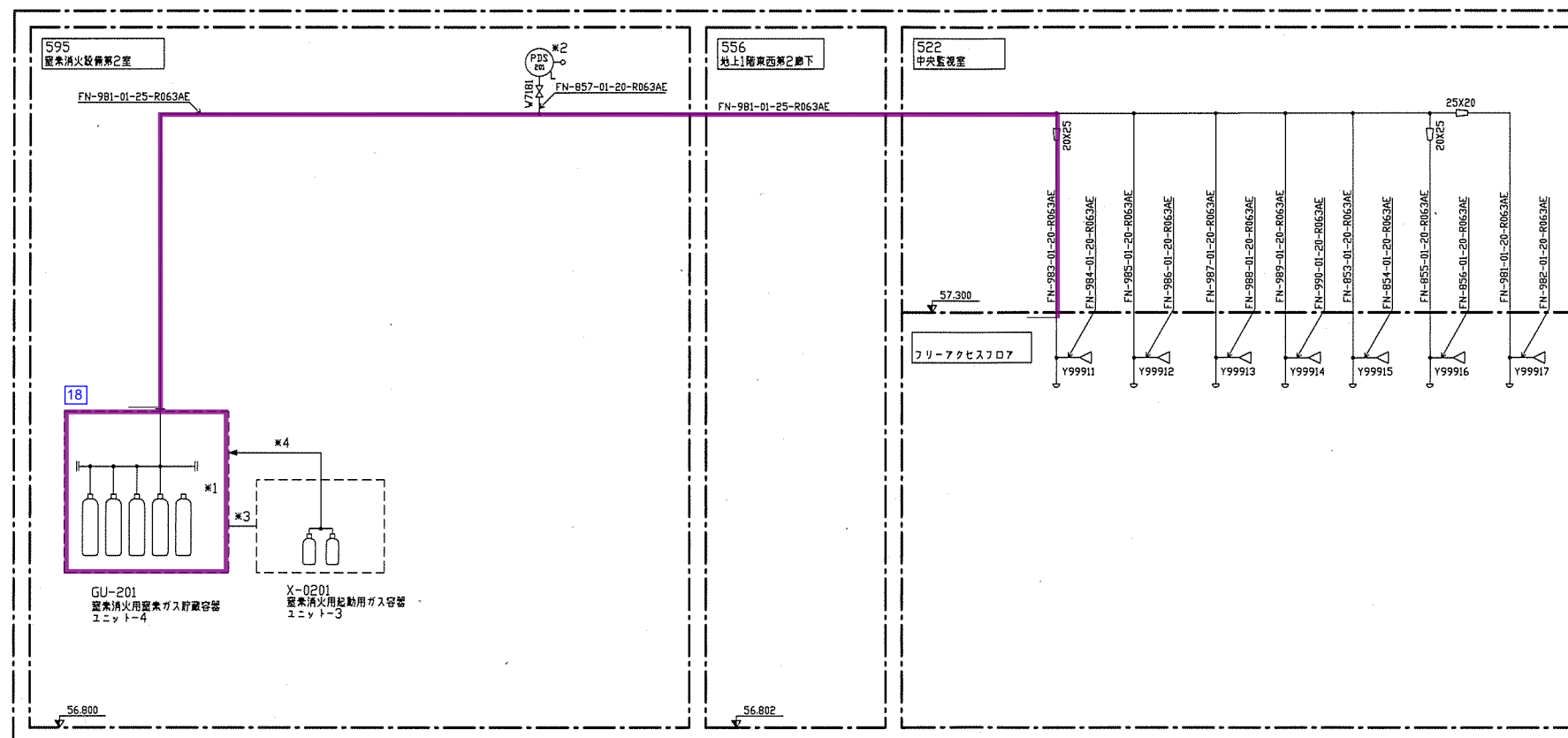
図書名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (密着消火装置)		
	エンジニアリングタワー部		
	工程: 0198(N2)(8/9)		
※先頭図書番号	PM-0198-4421-066	改訂	5



図名	燃料加工棟屋 (PA)		
図番	エーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (蓄兼消火装置)		
設計	エンジニアリングフロー		
工程	0198(N2)(9/9)		
図番	PM-0198-4421-067	改訂	5

注 記

- ※1: 窒素ガス加圧容器
- ※2: 放出完了作専用
- ※3: 窒素消火用起動用ガス容器ユニット内に放出専用圧力スイッチあり。当該配管は圧力スイッチ用の導圧配管
- ※4: 起動用ガスの導圧配管を示す。



図名	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (窒素消火装置 (中央監視室床下用)) エンジニアリングフロ-図 工程: 0198(N2<FL>) (1/1)		
図番	PM-0198-4421-070	改訂	HRC

申請対象設備抽出結果

施 設	その他の加工施設
設 備	非常用設備 火災防護設備 消火設備
機 器	二酸化炭素消火装置

	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置
【主たる機能】	室内消火						

【機器等の抽出】

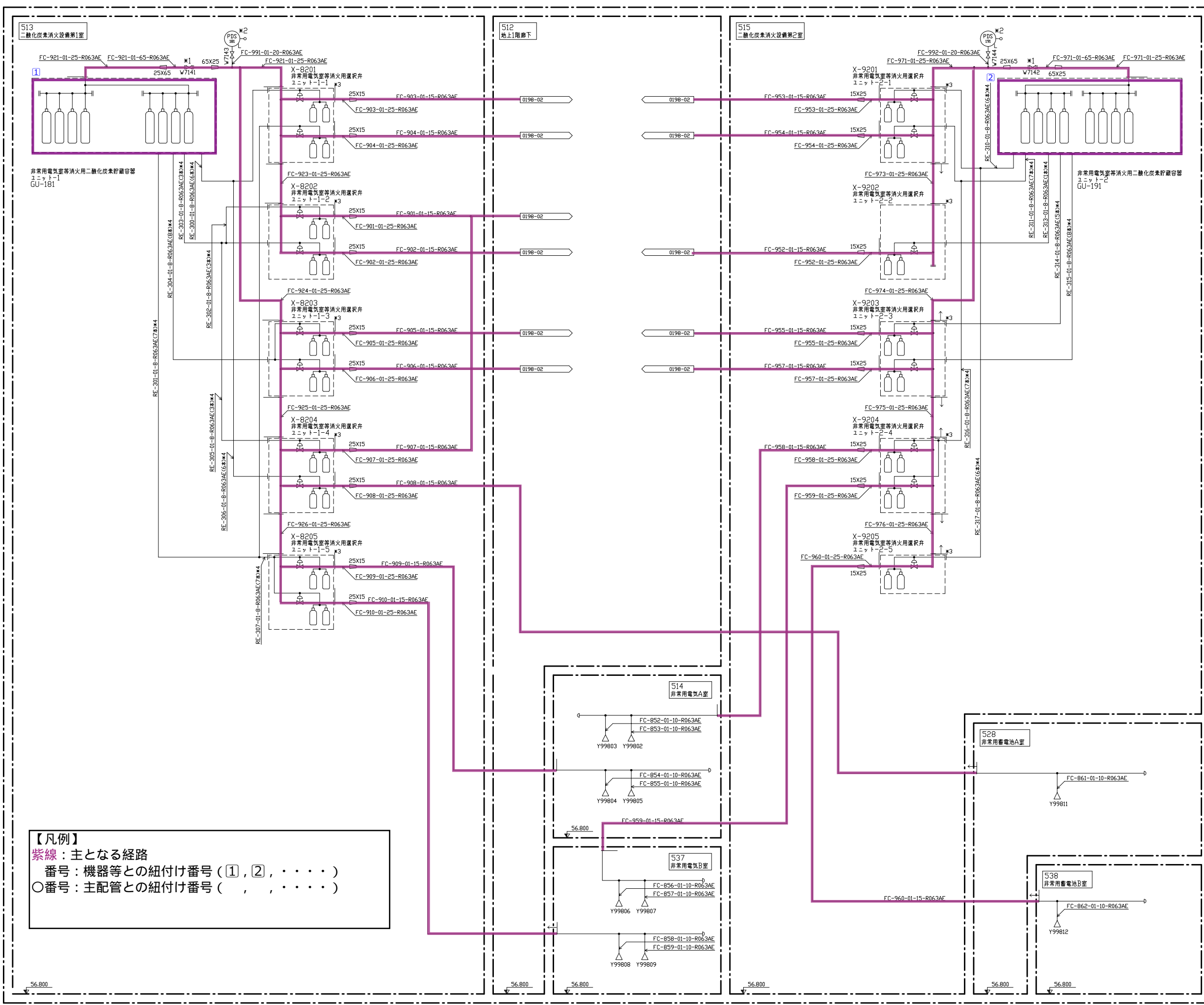
紐付け番号	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考	
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 柱型)	GU-181	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	技連PM-0100-1445-085 R0参照
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 柱型)	GU-191	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	技連PM-0100-1445-085 R0参照
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 柱型)	GU-001	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 柱型)	GU-002	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	

	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置
【主たる機能】	室内消火						

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ～ (選択弁ユニットX-8201～X-8202)及び(選択弁ユニットX-8203～X-8204～X-8205)	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8201 ～ 604非常用発電機給気機械A室及び605非常用発電機給気機械B室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8202, X-8204 ～ 445非常用発電機燃料ポンプ室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8202 ～ 552混合ガス受槽室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
5	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8203 ～ 581非常用電気E室及び582非常用電気A室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
6	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8204 ～ 528非常用蓄電池A室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
7	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8205 ～ 514非常用電気A室及び537非常用電気B室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
8	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ～ (選択弁ユニットX-9201～X-9202)及び(選択弁ユニットX-9203～X-9204～X-9205)	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
9	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9201 ～ 604非常用発電機給気機械A室及び605非常用発電機給気機械B室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
10	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9202 ～ 553混合ガス計装ラック室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
11	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9203 ～ 580非常用蓄電池E室及び583非常用制御盤B室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
12	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9204 ～ 514非常用電気A室及び537非常用電気B室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
13	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9205 ～ 538非常用蓄電池B室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
14	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ～ 526非常用発電機A室 ～ 527非常用発電機A制御室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	
15	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ～ 535非常用発電機B室 ～ 536非常用発電機B制御盤室	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—	

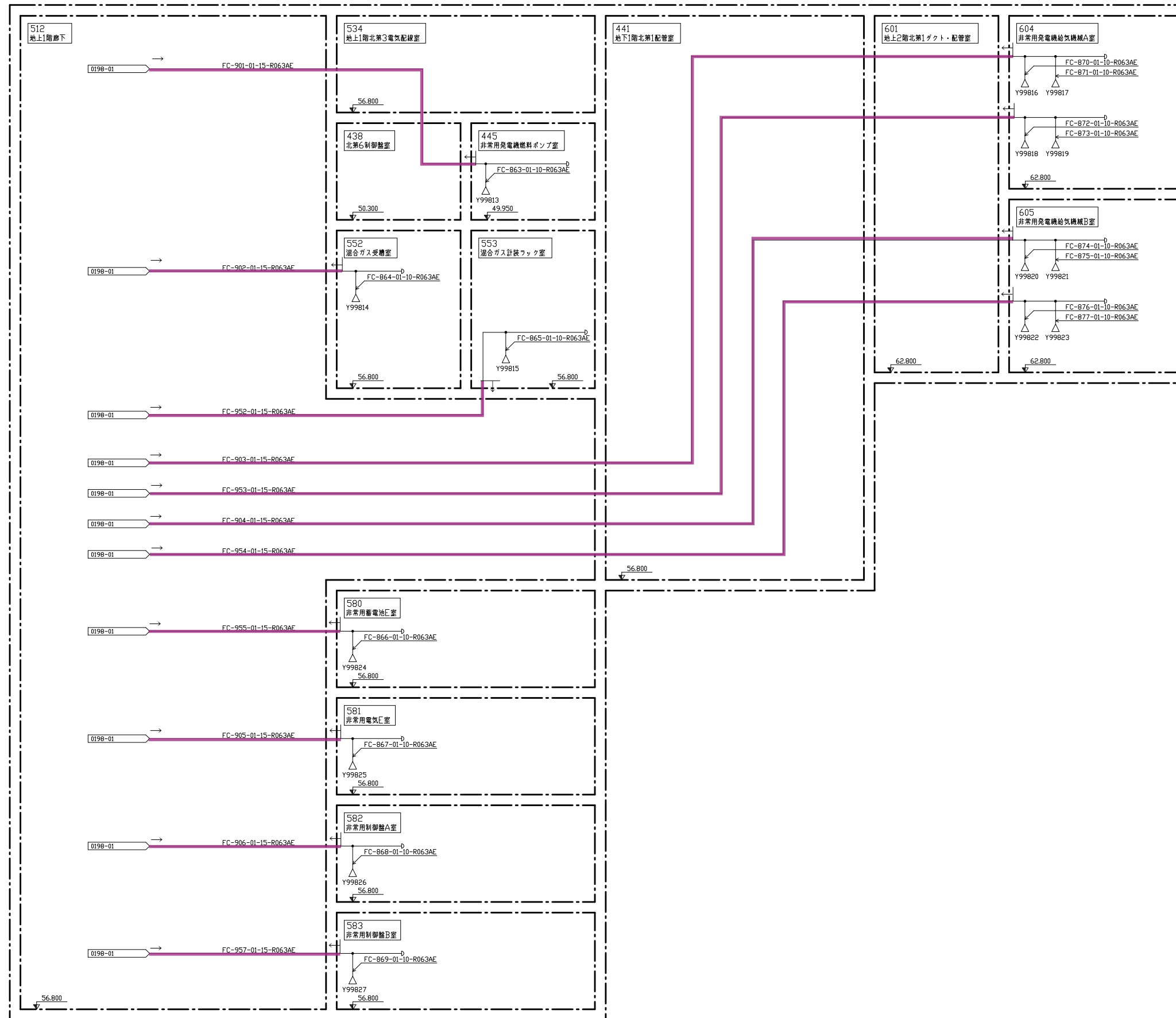
1式



注記
 ※1: 点検用閉弁
 ※2: 放出完了信号用
 ※3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
 ※4: 起動用導圧配管を示す。
 例: RE-***-01-8-R063AE(***本)×4
 (**本)は、貯蔵容器開放本数を示す。

【凡例】
 紫線: 主となる経路
 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, …)
 ○番号: 主配管との紐付け番号 (, , …)

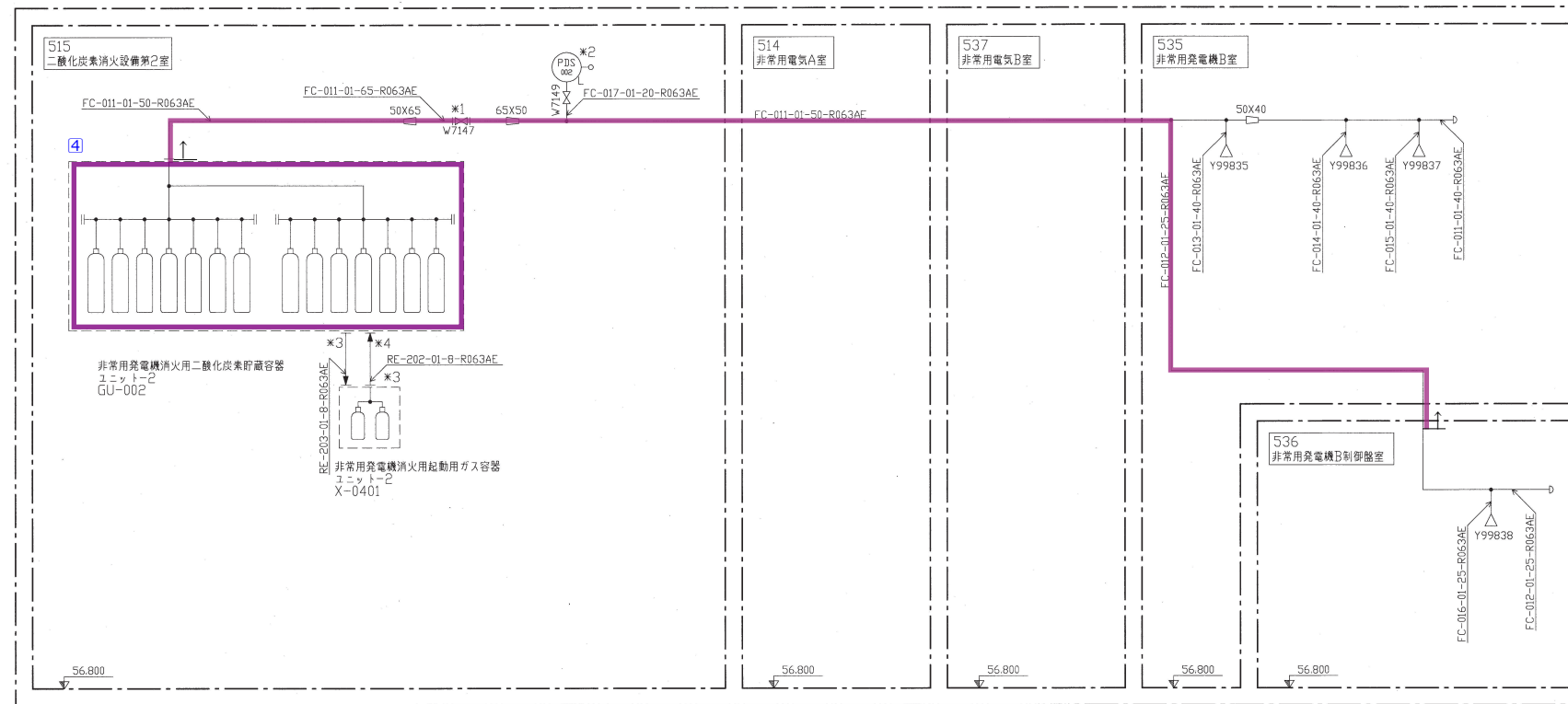
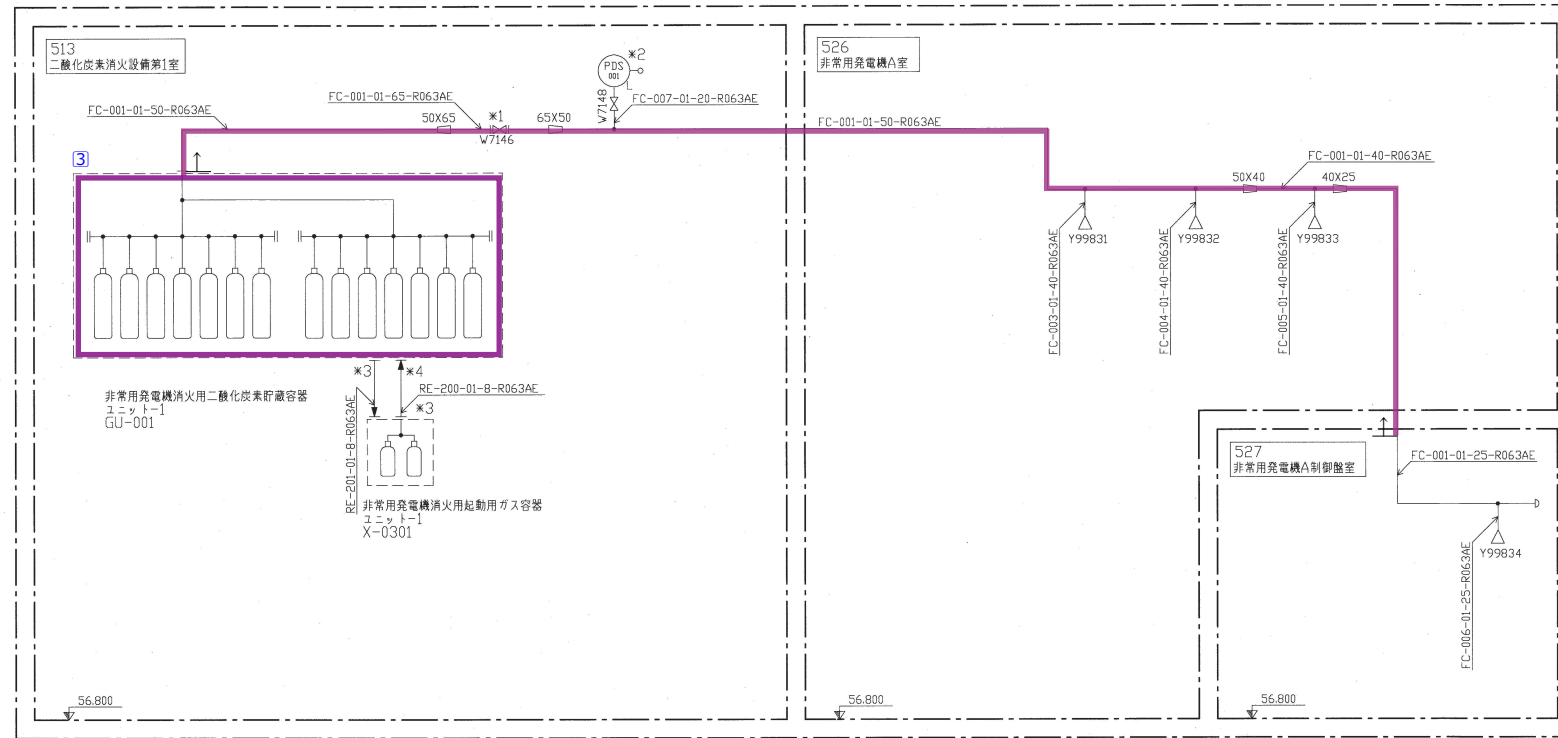
図名	燃料加工建屋 (PA) エネルギー設備 (Q) 防火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等)) エンジニアリングフロー図
工種	0198(CD2)X1/2
図番	PM-0198-4421-081
改訂	3



図名	燃料加工建屋 (PA) エネルギーリテ、設備 (Q) 防火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等用)) エンジニアリングタワー 工程: 0198(C02)X(2/2)		
図番	PM-0198-4421-082	改訂	3

注記

- *1: 点検用閉止弁
- *2: 放出完了信号用
- *3: 非常用発電機消火用起動用ガス容器ユニット内に放出信号用圧力スイッチあり。当該配管は圧力スイッチ用の専圧配管
- *4: 起動用ガスの専圧配管を示す。



図名	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用発電機用)) エンジニアリングフロー図		
工程	0198(C02GT) (1/1)		
図面番号	PM-0198-4421-083	改訂	4

申請対象設備抽出結果

施 設	その他の加工施設
設 備	非常用設備 火災防護設備 消火設備
機 器	グローブボックス消火装置

	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置
【主たる機能】	グローブボックス内消火						

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-111	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
2	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-112	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
3	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-113	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
4	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-114	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
5	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-115	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
6	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-121	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
7	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-122	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
8	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-123	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
9	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-124	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
10	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-125	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
11	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-131	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	
12	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 G B 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4	容器(環状型, 円筒型, 板状型, 円角柱型)	GU-141	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	

	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置
【主たる機能】	グローブボックス内消火						

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分			機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2, -1-3, -1-4, -1-5 ～ 減圧装置ユニットX-12 ～ (選択弁ユニットX-1303～X-1302～X-1301) 及びX-1304	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
2	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1301 ～ 回収粉末微粉碎装置グローブボックス及び調整粉末搬送装置-1グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
3	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1301出口分岐部1 ～ 均一化混合装置グローブボックス, 造粒装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-8グローブボックス及び調整粉末搬送装置-9グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
4	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1301出口分岐部2 ～ 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6グローブボックス及び調整粉末搬送装置-7グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
5	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1301 ～ 添加剤混合装置Aグローブボックス, 添加剤混合装置Bグローブボックス, 添加剤混合粉末搬送装置-3グローブボックス, プレス装置A(粉末取扱部)グローブボックス, プレス装置A(プレス部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置Aグローブボックス, プレス装置B(粉末取扱部)グローブボックス, プレス装置B(プレス部)グローブボックス及びグリーンペレット積込装置Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
6	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1301 ～ 焼結ボート搬送装置グローブボックス-46(B2F), 小規模研削検査装置グローブボックス, 小規模粉末混合装置グローブボックス, 小規模プレス装置グローブボックス, 資材保管装置グローブボックス, 小規模焼結処理装置グローブボックス, 容器移送装置グローブボックス-1, 容器移送装置グローブボックス-2, 容器移送装置グローブボックス-5, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2及び再生スクラップ受払装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
7	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1301 ～ 原料MOX粉末秤量・分取装置Aグローブボックス, 原料MOX粉末秤量・分取装置Bグローブボックス, ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス, 予備混合装置グローブボックス, 原料MOX分析試料採取装置グローブボックス, 原料MOX粉末缶取出装置グローブボックス, 原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-1, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-3, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-4(南側)及び原料粉末搬送装置-6グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
8	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1302 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1, 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2, 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-3及びペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
9	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置 ～ 選択弁ユニットX-1302 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2, スクラップ貯蔵棚グローブボックス-3及びスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分	設備区分	機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
10	その他の加工施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	グループボックス消火装置 選択弁ユニットX-1302 ～ 選択弁ユニットX-1305 ～ 挿入溶接装置(被覆管取扱部)Aグループボックス, 挿入溶接装置(被覆管取扱部)Bグループボックス, 乾燥ボート取出装置Aグループボックス, 乾燥ボート取出装置Bグループボックス, 乾燥ボート搬送装置グループボックス-7, 乾燥ボート搬送装置グループボックス-9, 乾燥ボート搬送装置グループボックス-10, 放射能濃度分析グループボックス-1及び分析済液中和固液分離グループボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
11	その他の加工施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	グループボックス消火装置 選択弁ユニットX-1302 ～ 空焼結ボート取扱装置グループボックス, 焼結ボート供給装置Aグループボックス, 焼結ボート供給装置Bグループボックス, 焼結ボート供給装置Cグループボックス, 焼結ボート搬送装置グループボックス-7, 焼結ボート搬送装置グループボックス-8(南側), 焼結ボート搬送装置グループボックス-10, 焼結ボート搬送装置グループボックス-11, 焼結ボート搬送装置グループボックス-13, 焼結ボート搬送装置グループボックス-14, 焼結ボート搬送装置グループボックス-18, 焼結ボート搬送装置グループボックス-19(西側), 焼結ボート搬送装置グループボックス-20(西側), 焼結ボート搬送装置グループボックス-21(西側), 焼結ボート搬送装置グループボックス-33, 焼結ボート搬送装置グループボックス-35, 焼結ボート搬送装置グループボックス-37, 焼結ボート搬送装置グループボックス-45, 焼結ボート搬送装置グループボックス-46(B3F), 焼結ボート搬送装置グループボックス-48, 焼結ボート受渡装置グループボックス-1(南側), ベレット一時保管棚グループボックス-1, ベレット一時保管棚グループボックス-2, ベレット一時保管棚グループボックス-3及び焼結ボート受渡装置グループボックス-4(北側)	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
12	その他の加工施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	グループボックス消火装置 選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ボート取出装置Aグループボックス, 焼結ボート取出装置Bグループボックス, 焼結ボート取出装置Cグループボックス, 焼結ボート搬送装置グループボックス-22, 焼結ボート搬送装置グループボックス-23, 焼結ボート搬送装置グループボックス-24, 焼結ボート搬送装置グループボックス-25及び焼結ボート搬送装置グループボックス-31(西側),	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
13	その他の加工施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	グループボックス消火装置 選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ベレット供給装置Aグループボックス, 研削装置Aグループボックス, ベレット検査設備Aグループボックス及び焼結ボート搬送装置グループボックス-39	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
14	その他の加工施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	グループボックス消火装置 選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ベレット供給装置Bグループボックス, 研削装置Bグループボックス, ベレット検査設備Bグループボックス及び焼結ボート搬送装置グループボックス-41	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
15	その他の加工施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	グループボックス消火装置 選択弁ユニットX-1304 ～ 研削粉回収装置Aグループボックス, 研削粉回収装置Bグループボックス, ベレット保管容器搬送装置グループボックス-1, ベレット保管容器搬送装置グループボックス-3, ベレット保管容器搬送装置グループボックス-5, ベレット保管容器搬送装置グループボックス-8, ベレット保管容器搬送装置グループボックス-10(空気部)及びベレット保管容器搬送装置グループボックス-12(台車部)	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
16	その他の加工施設	非常用設備	火災防護設備 消火設備	グループボックス消火装置 選択弁ユニットX-1304 ～ 一次混合装置Aグループボックス, 一次混合装置Bグループボックス, 回収粉末処理・混合装置グループボックス, 回収粉末処理・詰替装置グループボックス, 回収粉末処理・詰替装置グループボックス, 調整粉末搬送装置-11グループボックス(東側), 調整粉末搬送装置-13グループボックス(東側), 調整粉末搬送装置-14グループボックス(東側), 調整粉末搬送装置-16グループボックス(東側), 焼結ボート搬送装置グループボックス-49, 回収粉末容器搬送装置グループボックス-1及び回収粉末容器搬送装置グループボックス-3,	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
17	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2, -2-3, -2-4, -2-5 ～ 減圧装置ユニットX-22 ～ 選択弁ユニットX-2301	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
18	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4, スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5及びスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2	主配管	燃料加工建屋		2	新設	安重	—	—	—	
19	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ 粉末一時保管装置グローブボックス-1, 粉末一時保管装置グローブボックス-2, 粉末一時保管装置グローブボックス-3, 粉末一時保管装置グローブボックス-4, 粉末一時保管装置グローブボックス-5, 粉末一時保管装置グローブボックス-6, 調整粉末搬送装置-3グローブボックス(東側), 調整粉末搬送装置-4グローブボックス, 調整粉末搬送装置-11グローブボックス(西側), 調整粉末搬送装置-13グローブボックス(西側), 調整粉末搬送装置-14グローブボックス(西側), 調整粉末搬送装置-16グローブボックス(西側), 調整粉末搬送装置-19グローブボックス及び調整粉末搬送装置-20グローブボックス	主配管	燃料加工建屋		2	新設	安重	—	—	—	
20	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4, 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12(リフト)	主配管	燃料加工建屋		2	新設	安重	—	—	—	
21	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 ～ 減圧装置ユニットX-32 ～ 選択弁ユニットX-3301 ～ 選択弁ユニットX-3302	主配管	燃料加工建屋		2	新設	安重	—	—	—	
22	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ 小規模焼結炉排ガス処理装置グローブボックス及び再生スクラップ焙焼処理装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋		2	新設	安重	—	—	—	
23	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10(空気部)(北側)	主配管	燃料加工建屋		2	新設	安重	—	—	—	
24	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ 選択弁ユニットX-3305及び選択弁ユニットX-3304	主配管	燃料加工建屋		2	新設	非安重	—	—	—	
25	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 試料溶解・調製装置-2グローブボックス-1, 試料溶解・調製装置-2グローブボックス-2, 試料溶解・調製装置-2グローブボックス-3, 炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1, 炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-2, X線回折測定装置グローブボックス, 金相試験装置グローブボックス-1, 金相試験装置グローブボックス-2及び塩素・フッ素分析装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋		2	新設	非安重	—	—	—	
26	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ O/M比測定装置グローブボックス, 水分分析装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス, 受払装置グローブボックス及び搬送装置-3グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋		2	新設	非安重	—	—	—	
27	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1, 試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2, 蛍光X線分析装置グローブボックス, プルトニウム含有率分析装置グローブボックス, 受払・分配装置グローブボックス及び搬送装置-1 グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	2	新設	非安重	—	—	—		

【主配管等の名称整理】

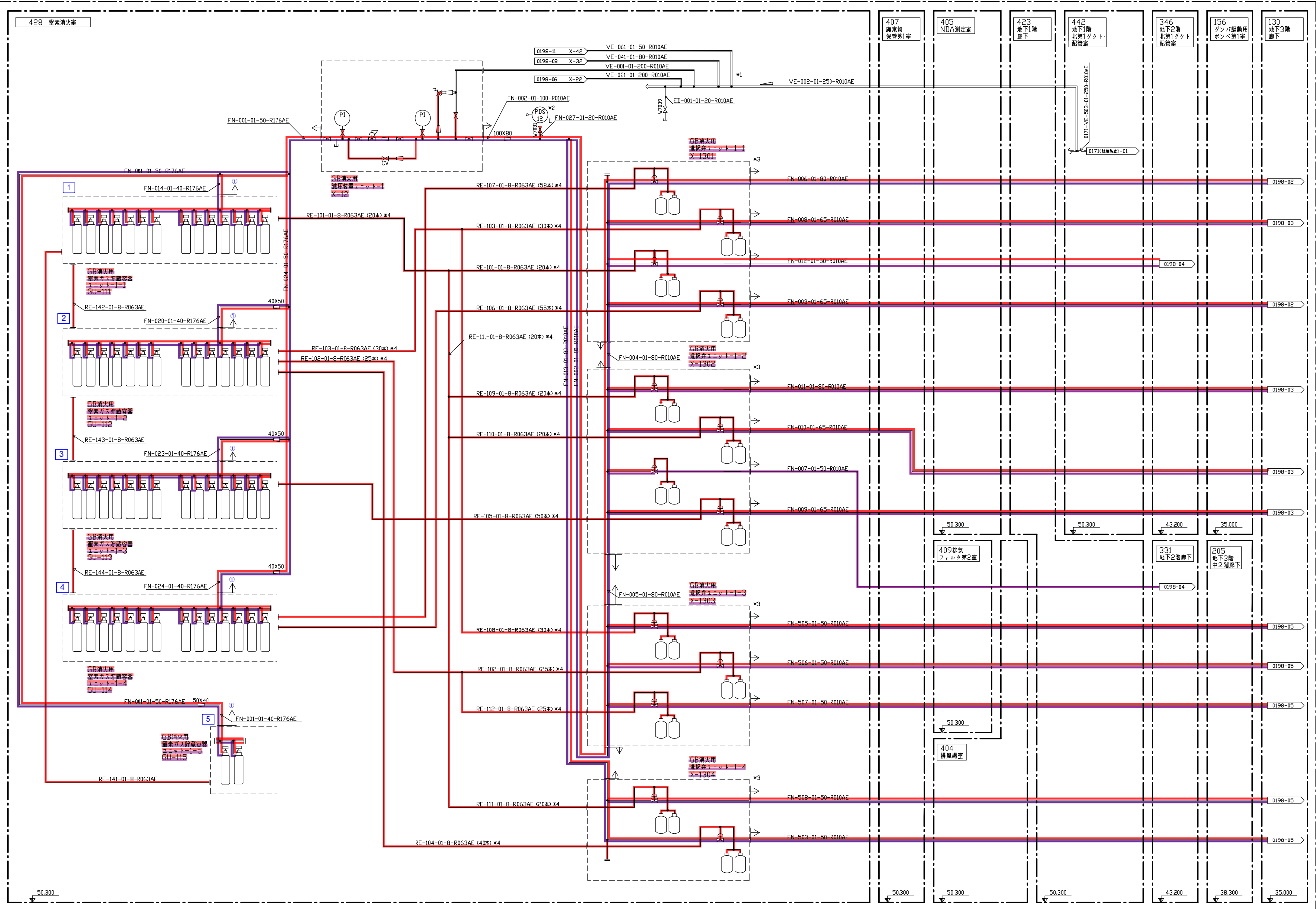
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
28	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ スパイク試料調製装置-1グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-2グローブボックス-2, スパイク試料調製装置-2グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-2グローブボックス-2, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-2, イオン交換装置グローブボックス-1, イオン交換装置グローブボックス-2, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-2, イオン交換装置グローブボックス-1, イオン交換装置グローブボックス-2, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-2, 質量分析装置B グローブボックス, 質量分析装置C グローブボックス, 質量分析装置D グローブボックス, 質量分析装置E グローブボックス, 搬送装置-2 グローブボックス-3, α線測定装置グローブボックス, γ線測定装置グローブボックス及び試料塗布装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
29	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 放射能濃度分析グローブボックス-2, ろ過・第1活性炭処理グローブボックス及び第2活性炭・吸着処理グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
30	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 蒸発性不純物測定装置A グローブボックス, ICP-質量分析装置グローブボックス, 水素分析装置グローブボックス, ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1, ペレット溶解性試験装置グローブボックス-2, プルトニウムスポット検査装置グローブボックス, EPMA分析装置グローブボックス, 液浸密度測定装置グローブボックス及び熱分析装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
31	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 乾燥ポート供給装置Aグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
32	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ ペレット立会検査装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
33	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
34	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 乾燥ポート供給装置Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
35	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 燃料棒解体装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
36	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Aグローブボックス(下部), 排ガス処理装置Aグローブボックス(上部)	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
37	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Bグローブボックス(下部)及び排ガス処理装置Bグローブボックス(上部)	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
38	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Cグローブボックス(下部)及び排ガス処理装置Cグローブボックス(上部)	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
39	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 焼結ポート搬送装置グローブボックス-36, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-38, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-40及び焼結ポート搬送装置グローブボックス-42	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
40	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ～ 減圧装置ユニットX-42 ～ 選択弁ユニットX-4301	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—	
41	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4301 ～ (選択弁ユニットX-4302～選択弁ユニットX-4303) 及び選択弁ユニットX-4307	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	
42	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4307 ～ 固体廃棄物選別装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	—	

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
43	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4302 ～ 溶接試料前処理装置グローブボックス, 除染装置Aグローブボックス, 乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11及び乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
44	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4303 ～ 部材供給装置Aグローブボックス, 部材供給装置Bグローブボックス, 除染装置Bグローブボックス, 収支試料受払装置グローブボックス及び収支試料調製装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋		2	新設	非安重	—	—	—	
45	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4301 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (B3F)	主配管	燃料加工建屋		2	新設	安重	—	—	—	

【凡例】
 赤線：安全上重要な施設の範囲
 紫線：主となる経路
 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, ……)
 ○番号：主配管との紐付け番号(, , ……)

注記
 ※1: 各安全弁出口管の250A母管への合流角度は45°以内とする。
 ※2: 放出完了信号用
 ※3: 選択弁後流に放出信号圧カスイッチあり。
 ※4: 起動用ガス配管等の専圧配管
 (**本)は貯蔵容器開放数を示す。

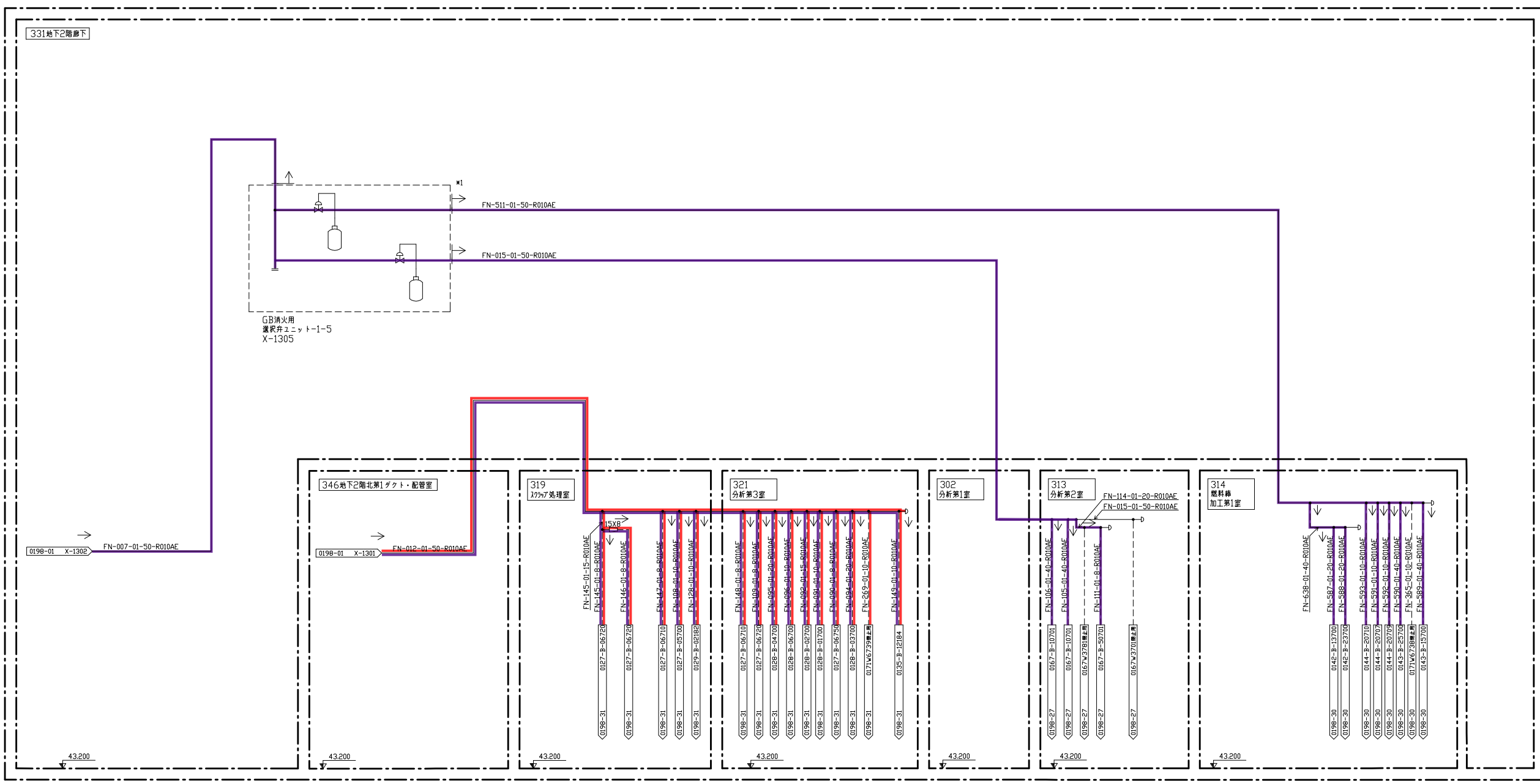


図名 燃料加工棟屋 (PA)
 ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB消火装置)
 エンジニアリングフロー図
 工程: 0198 (GB) (1/31)
 図番 PM-0198-4421-001 改訂 15

A : 選択弁ユニットX-1301出口分岐部1

B : 選択弁ユニットX-1301出口分岐部2

図名	燃料加工棟屋 (PA)		
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消防装置		
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (2/31)		
図面番号	PM-0198-4421-002	改訂	12

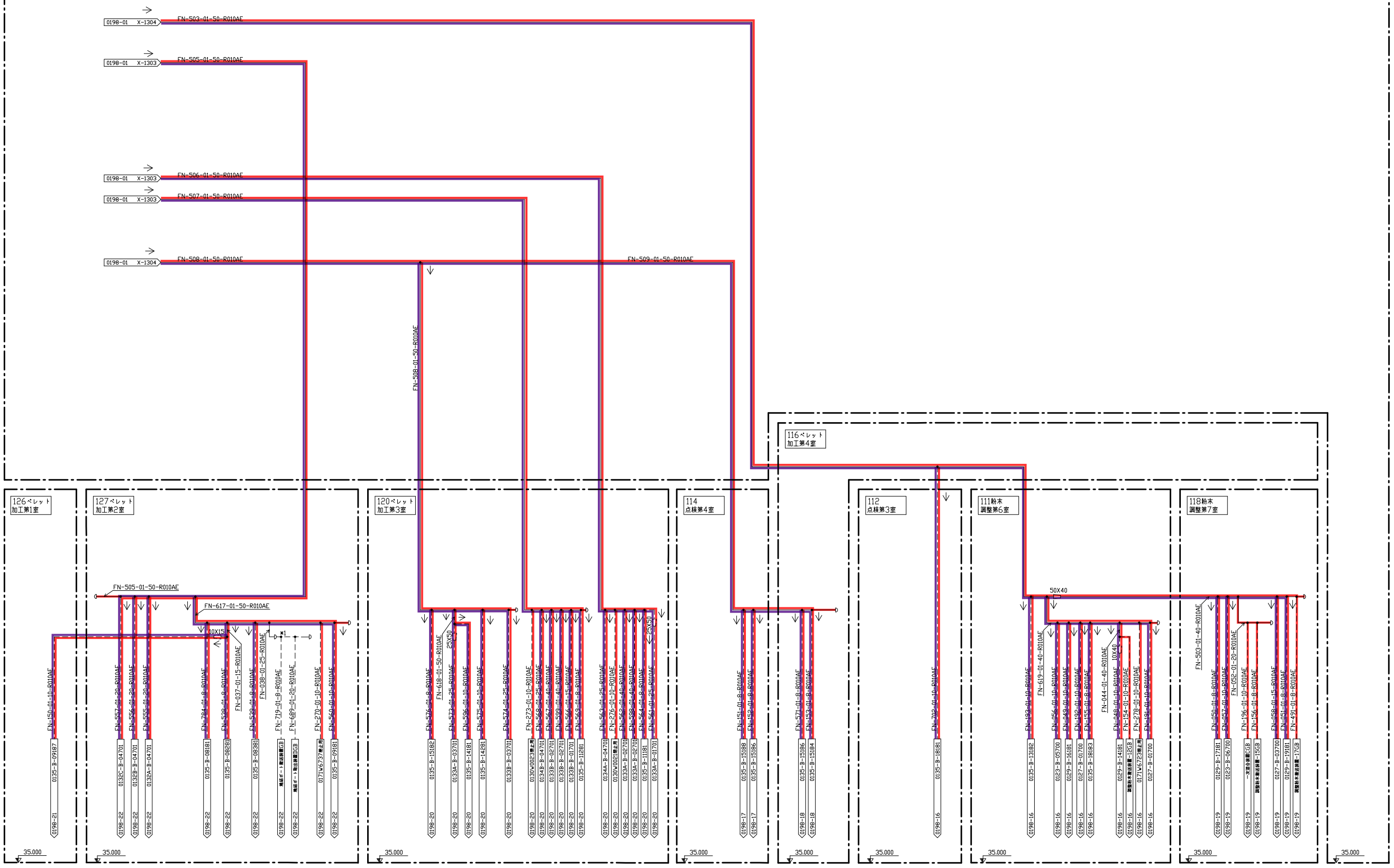


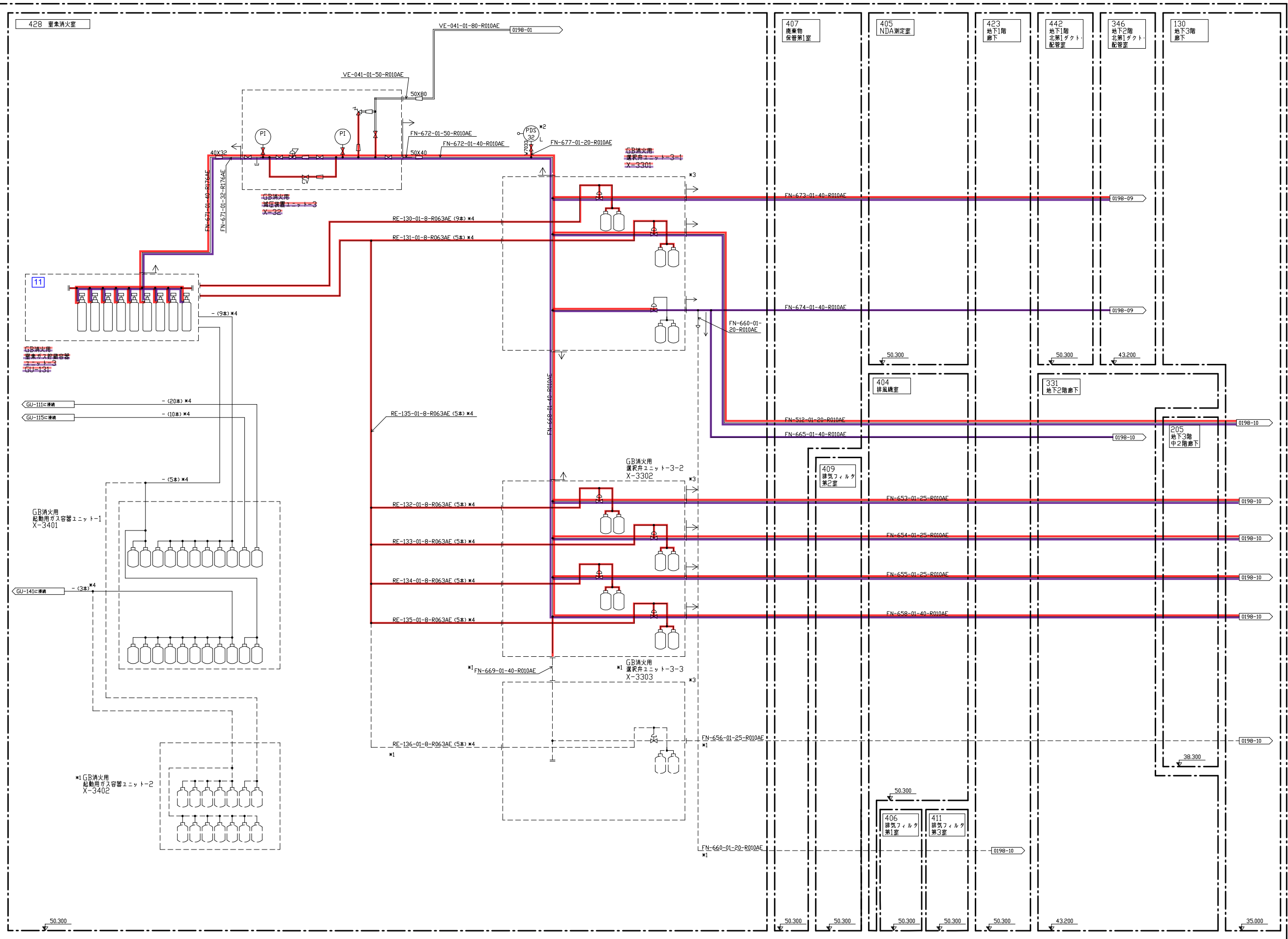
注記
 *1: 選別弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

図書名称	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (4/31)		
客先図番	PM-0198-4421-004	改訂	12

130地下3階廊下

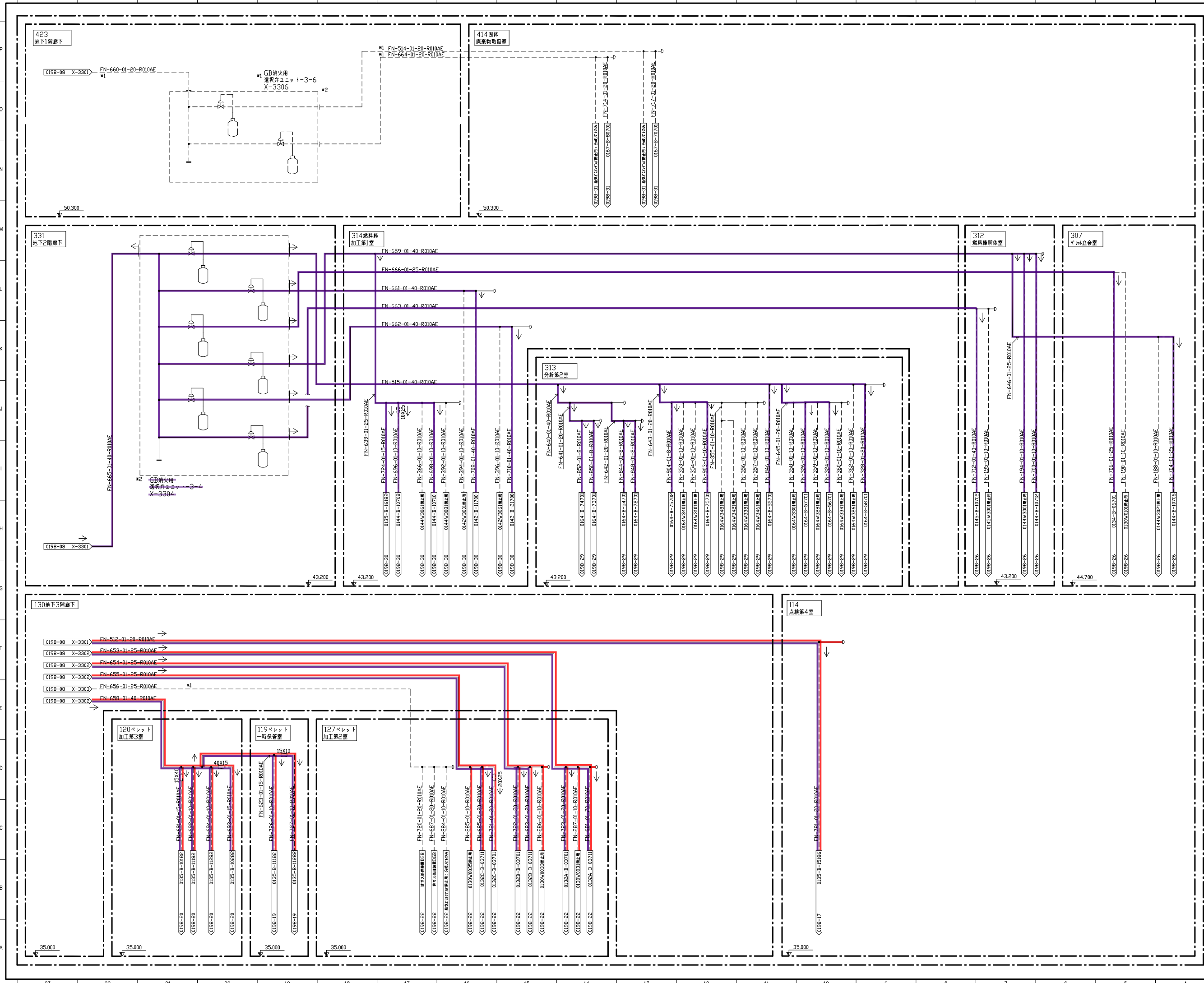
注記
*1: 将来設置





- 注記
- *1: 将来設置
 - *2: 放完了係専用
 - *3: 選定ユニット後に放出信号用圧カスイッチあり。
 - *4: 起動用ガス配管等の準任配管
(**本)は貯蔵容器開放本数を示す。

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロア 工程: 0198 (GB) (8/31)		
図番	PM-0198-4421-008	改訂	15

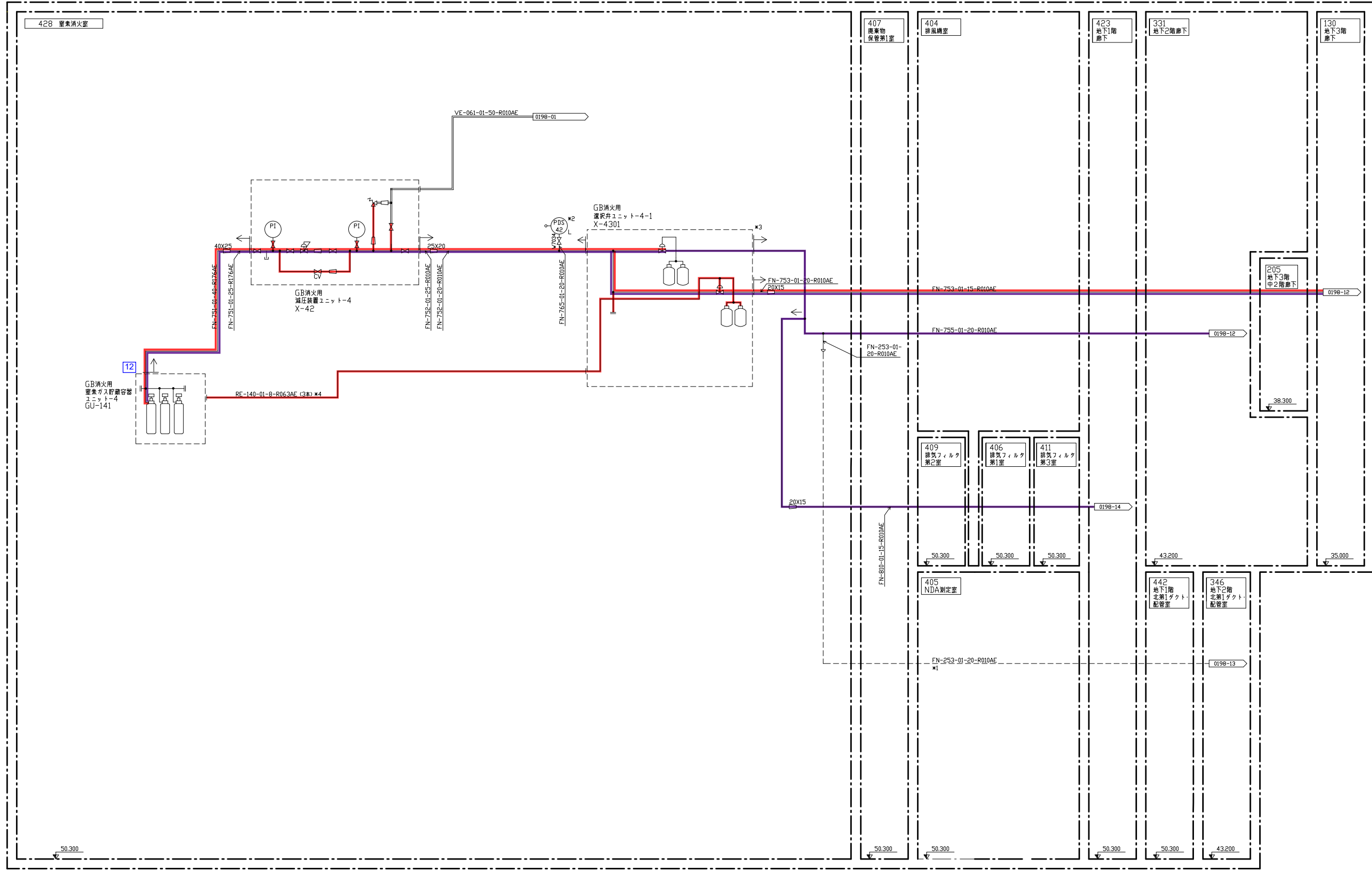


注記
 ※1 呼来設置
 ※2 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

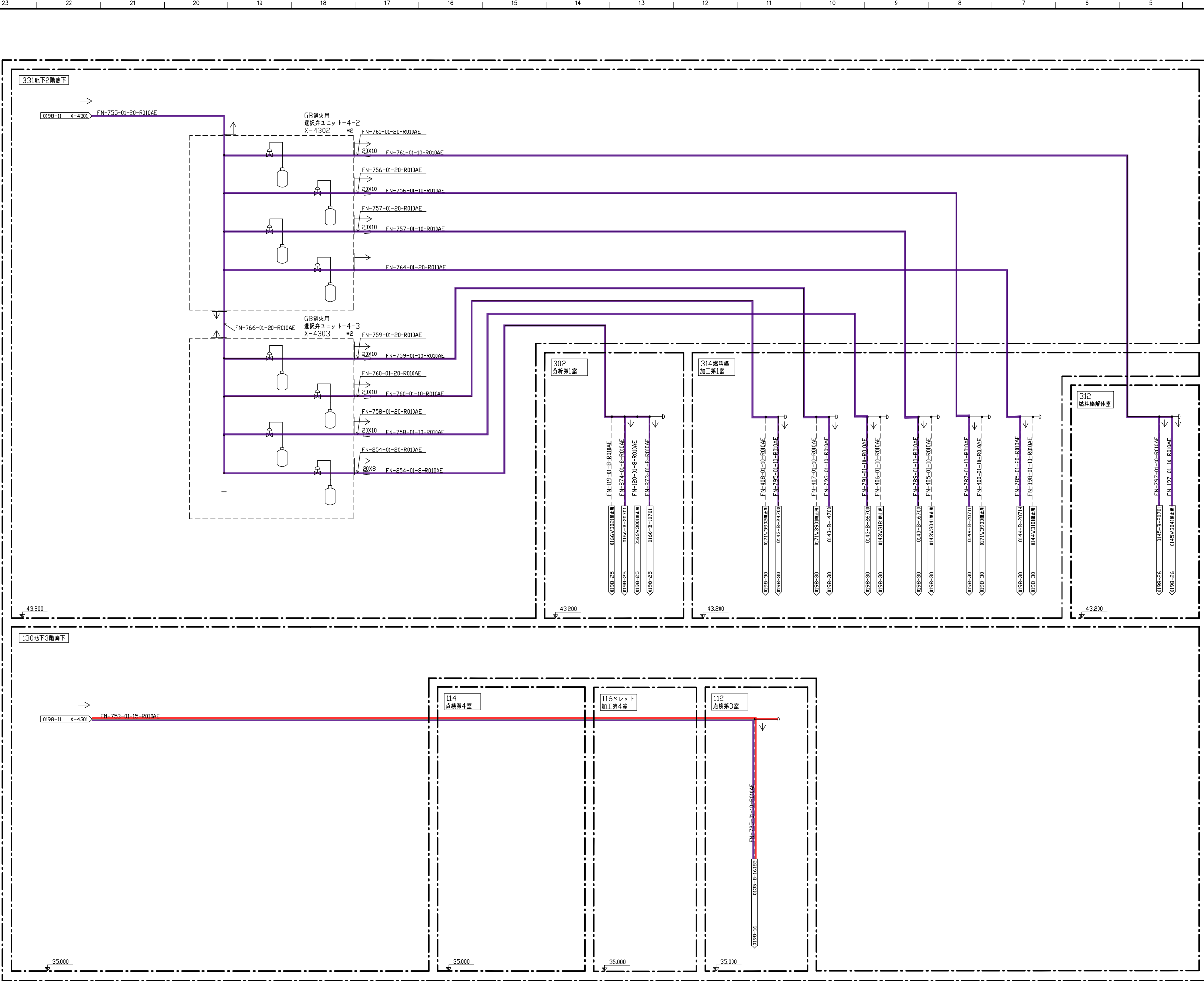
図名	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消火装置
エンジニアリングフロー図	0198 (GB) (10/31)
図面番号	PM-0198-4421-010
改訂	13

注記

- *1: 将来設置
- *2: 放出完了信号用
- *3: 選択弁後流に放出信号用圧カスイッチあり。
- *4: 起動用ガス配管等の専任配管
(**本)は貯蔵容量開放本数を示す。



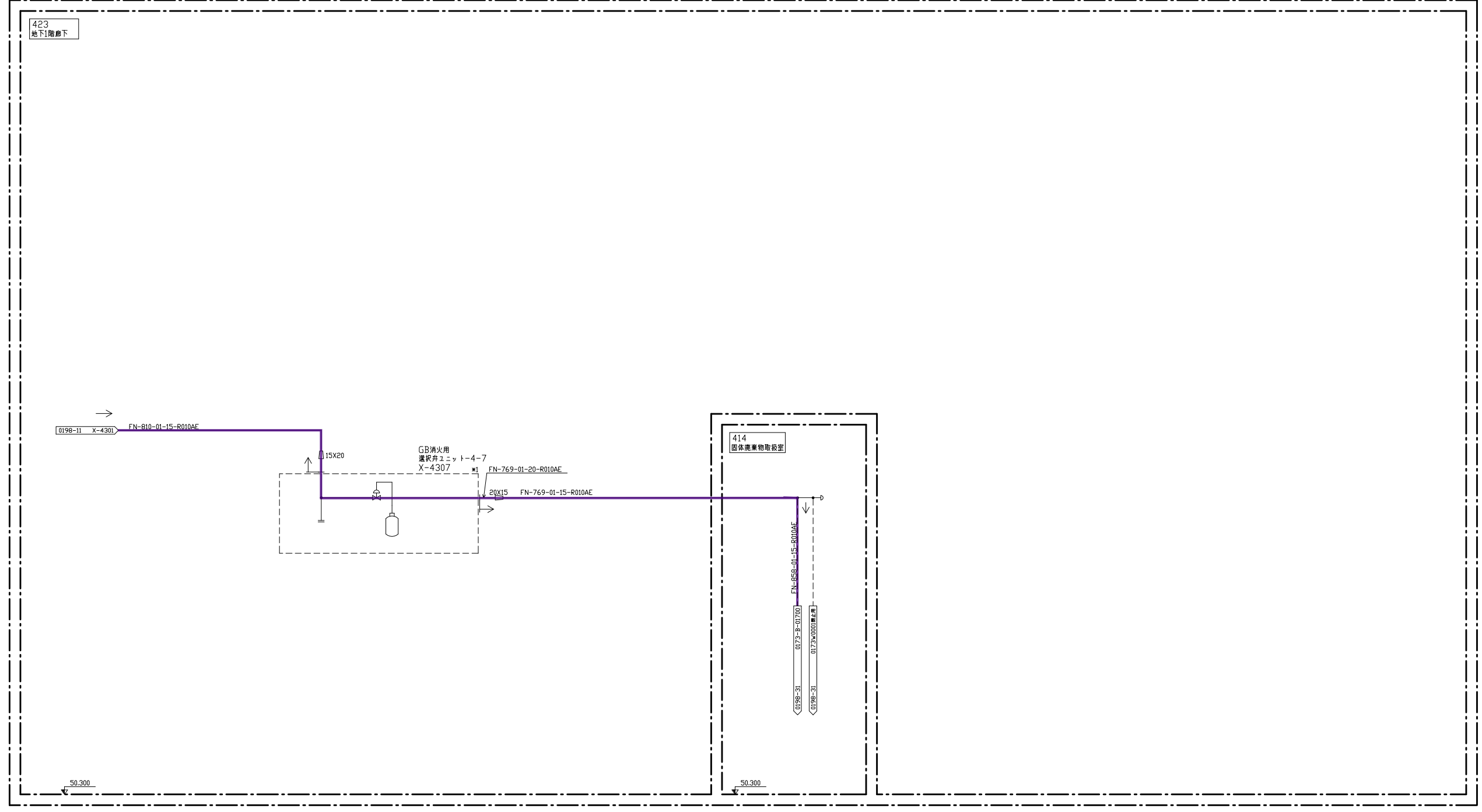
図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (11/31)		
図号	PM-0198-4421-011	改訂	14



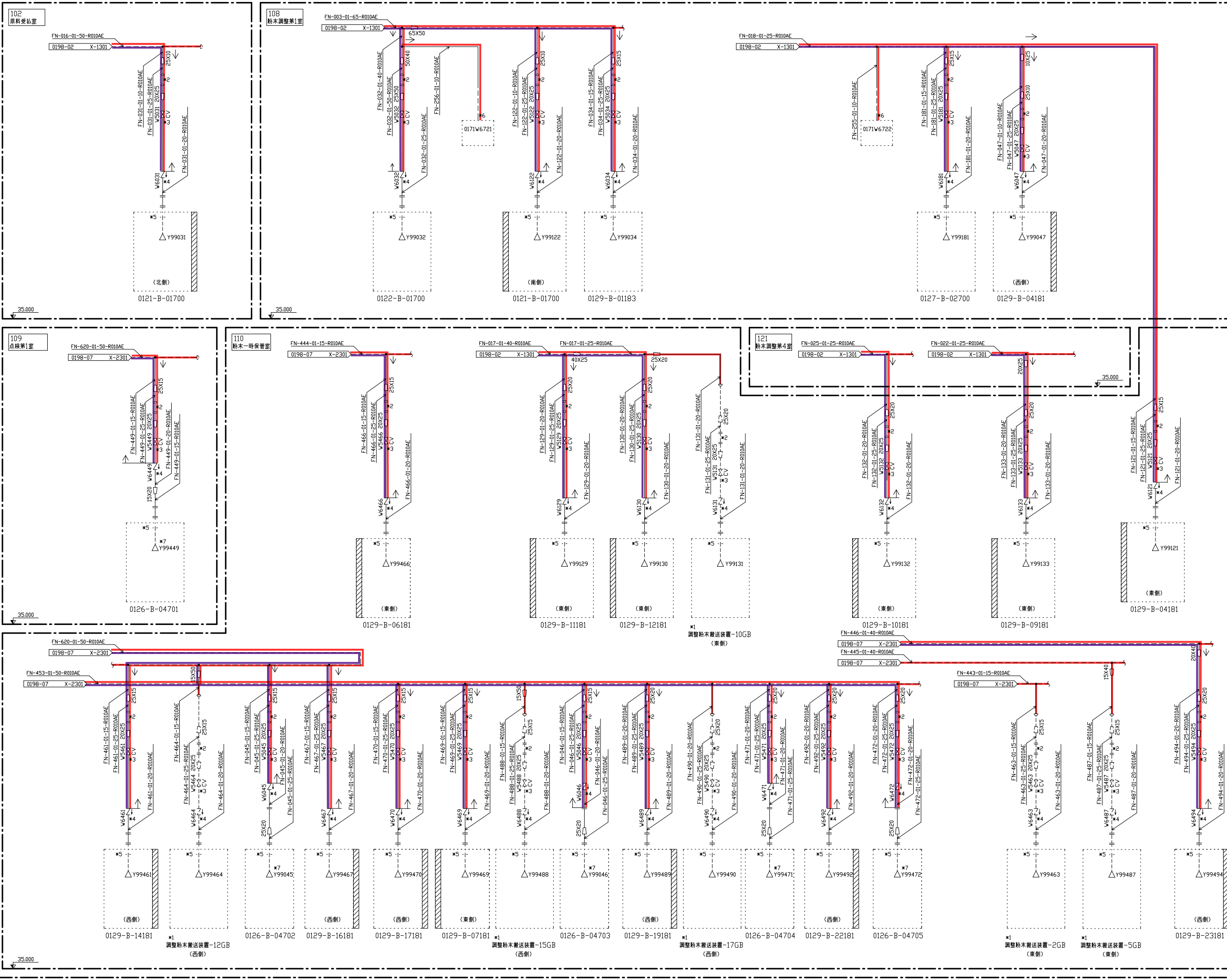
注記
 ※1 将来設置
 ※2: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

図名	燃料加工棟屋 (PA)
内容	ユーティリティ設備 (Q) 消防水設備 (GB 消防装置) エンジニアリングタワー 工程: 0198 (GB) (12/31)
図面番号	PM-0198-4421-012
改訂	13

注 記
*1 選択弁後流に放出専用圧カスイッチあり。

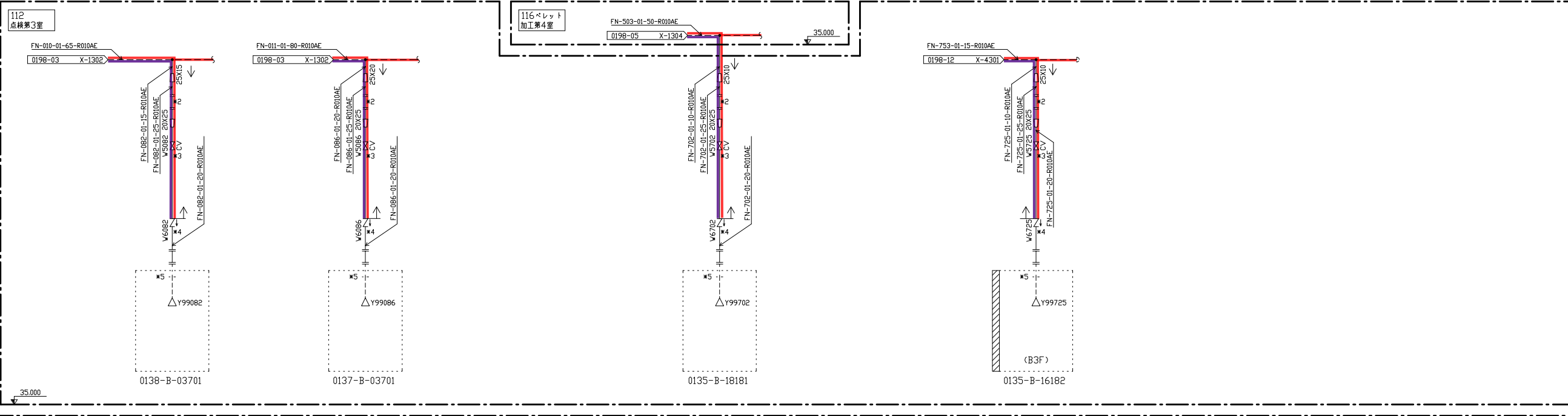
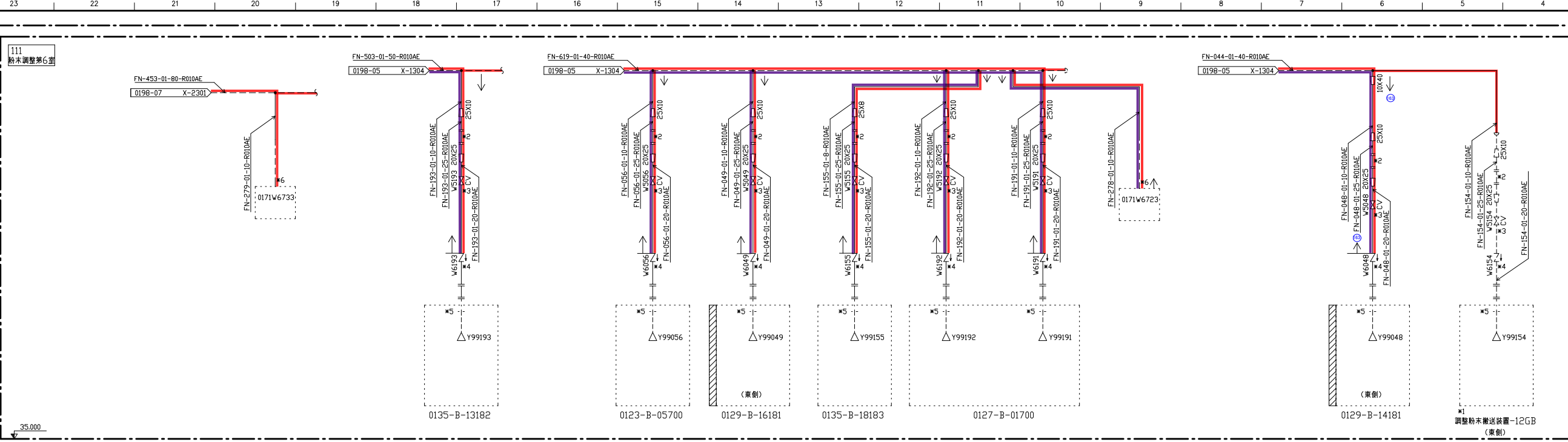


図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングタワー屋 工程: 0198 (GB) (14/31)		
図号	PM-0198-4421-014	改訂	8



- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合は)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合は)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ビストンダンパ用専任配管。
実線：SUS管(分岐部～PD近傍の末端部まで)
破線：銅管(PD近傍の末端部～PD取り合い部まで)
 - *7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

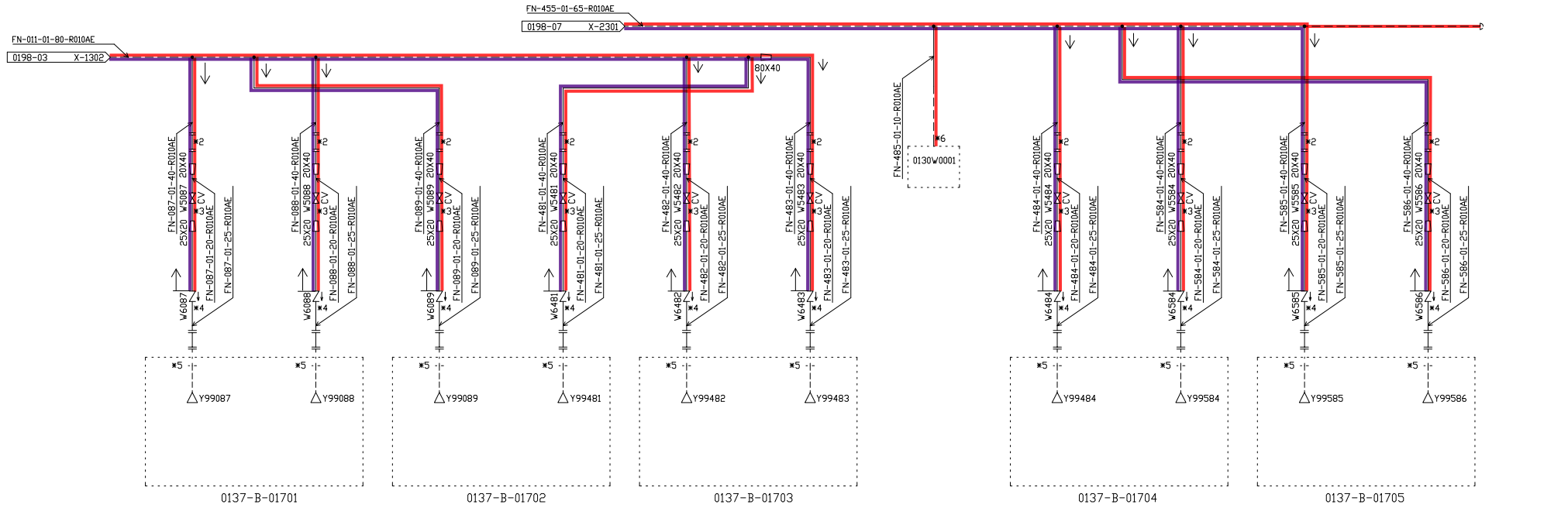
図名	燃料加工建屋(PA)
内容	ユーティリティ設備(Q) 防火設備(GB消火装置) エンジニアリングフロー図
工程	0198 (GB) (15/31)
図番	PM-0198-4421-015
表訂	13



- 注記
- ※1 将来設置
 - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
 - ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
 - ※6 ピストンガンバイ用専任配管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：鋼管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）

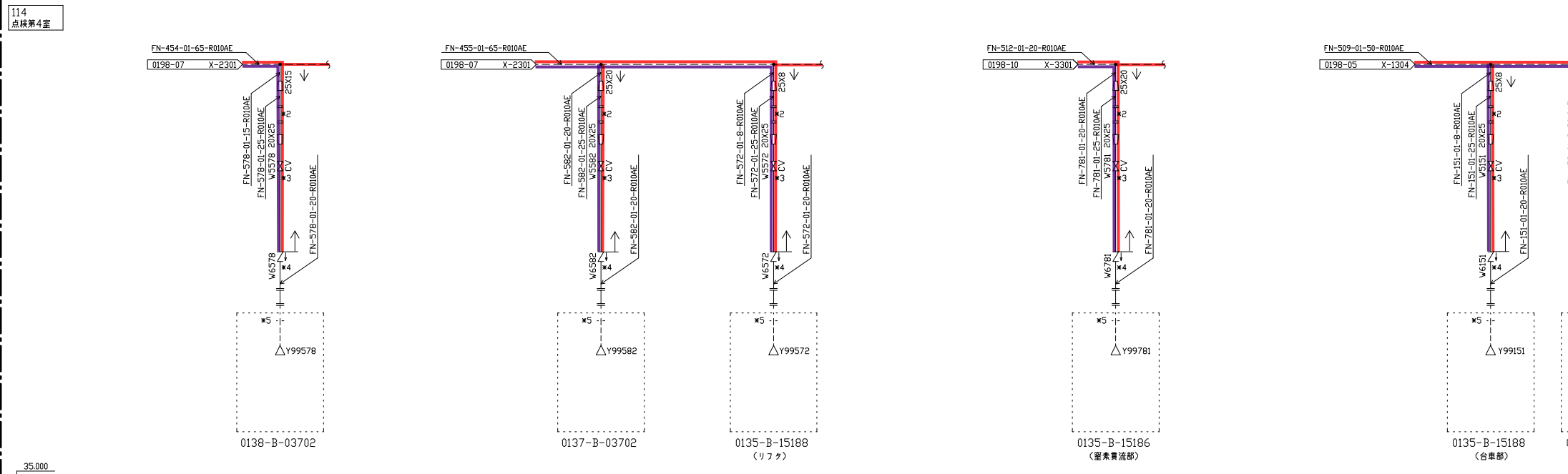
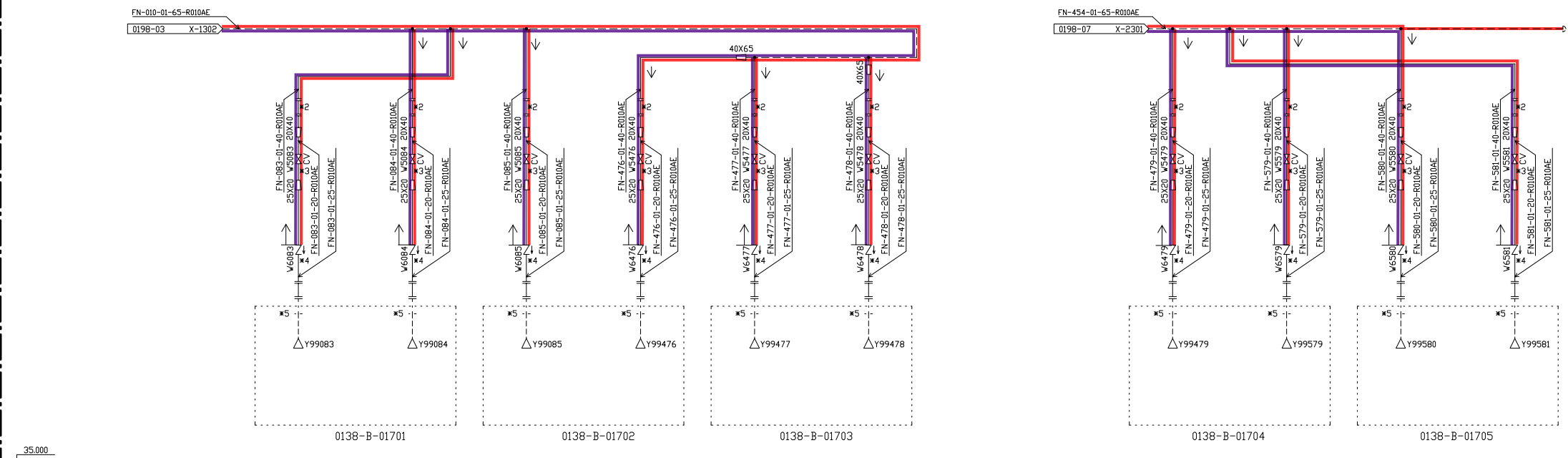
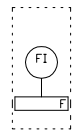
図書名称	燃料加工種番 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置		
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (16/31)		
※先頭図書番号	PM-0198-4421-016	改訂	10

113ベレット
3777貯蔵室



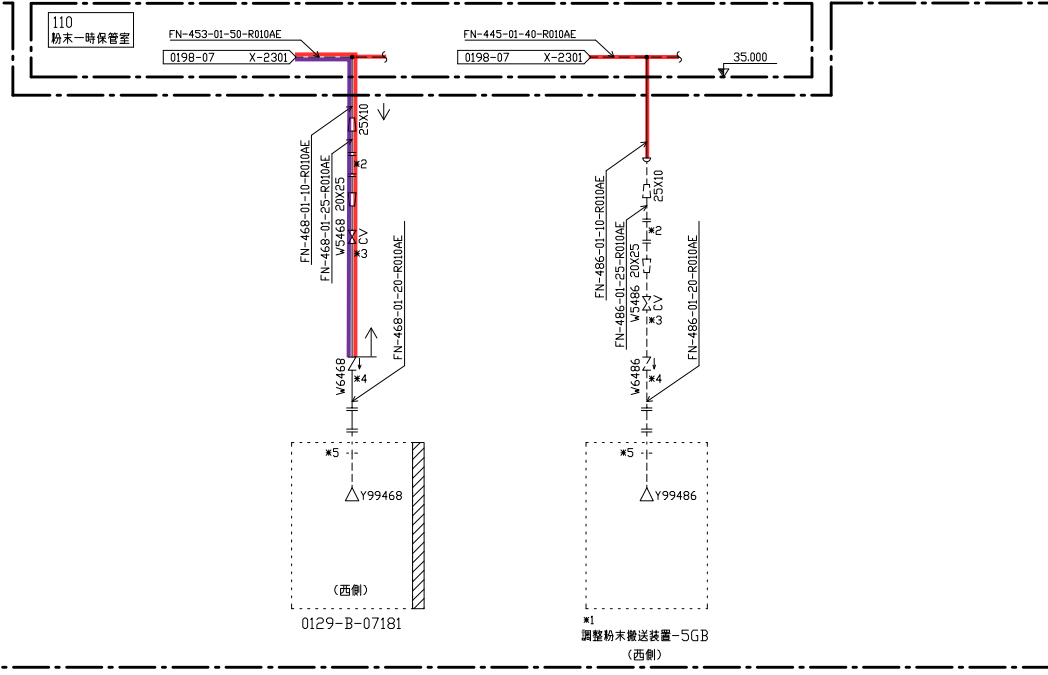
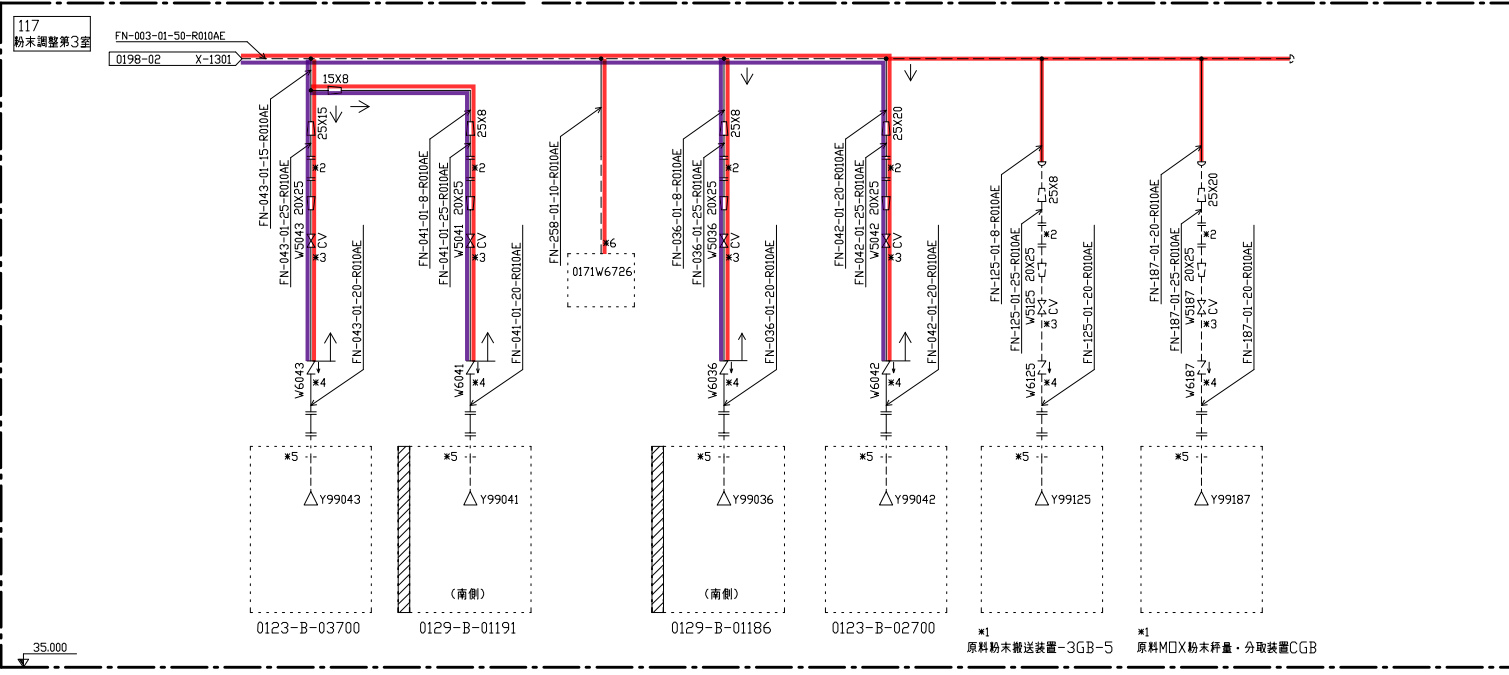
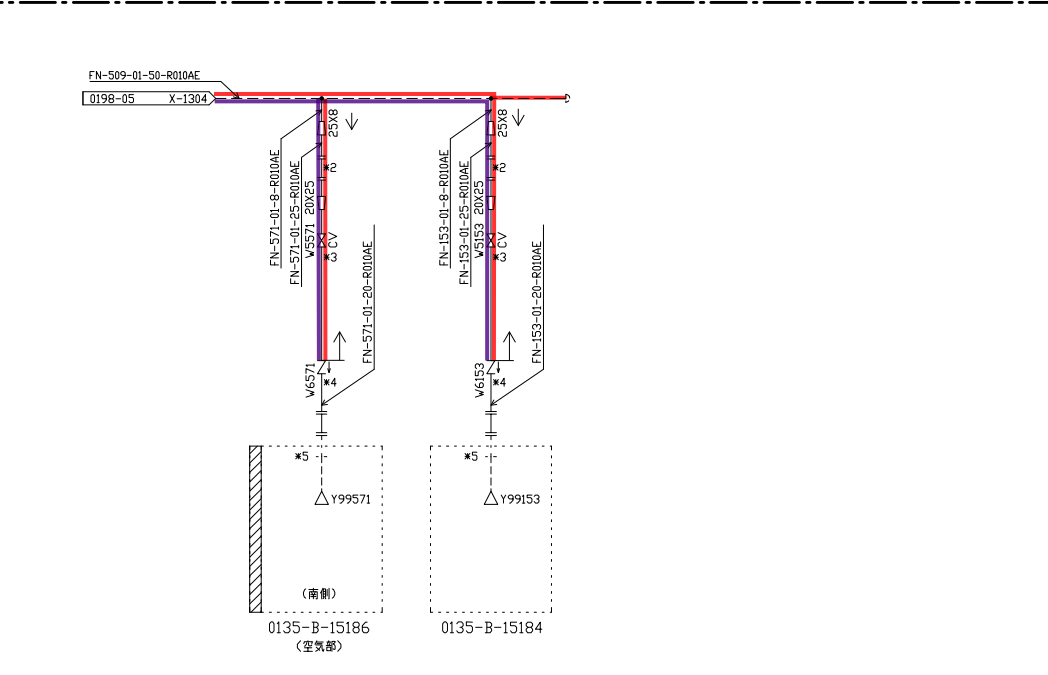
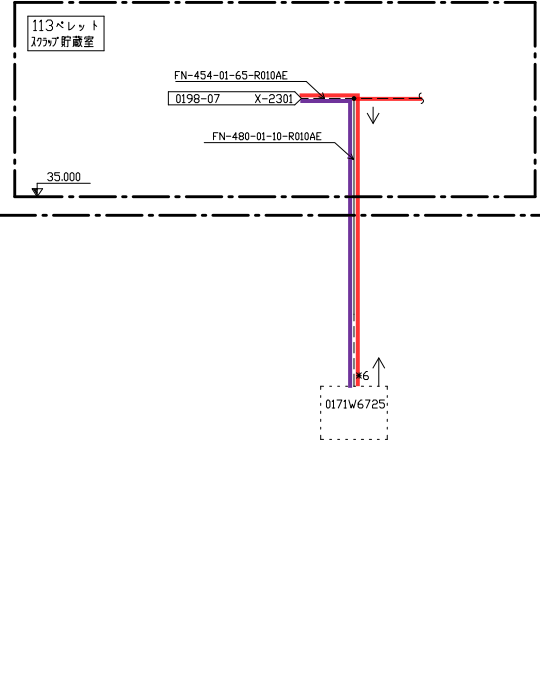
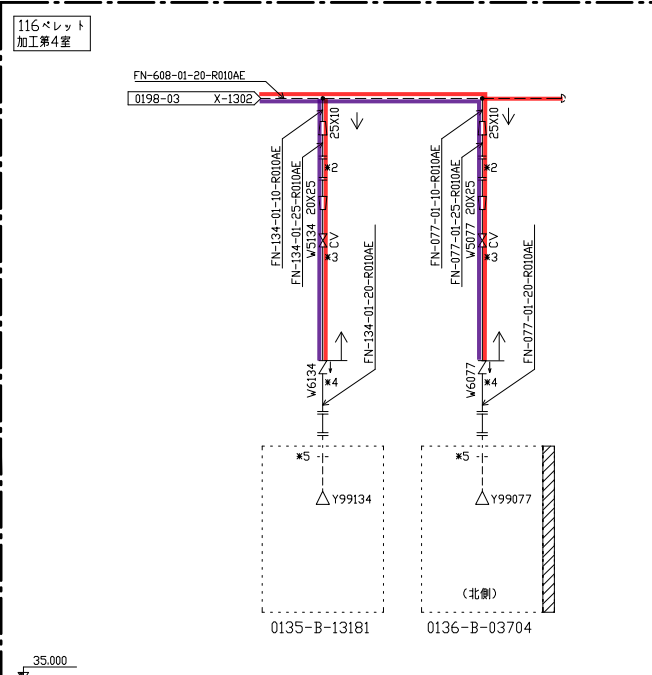
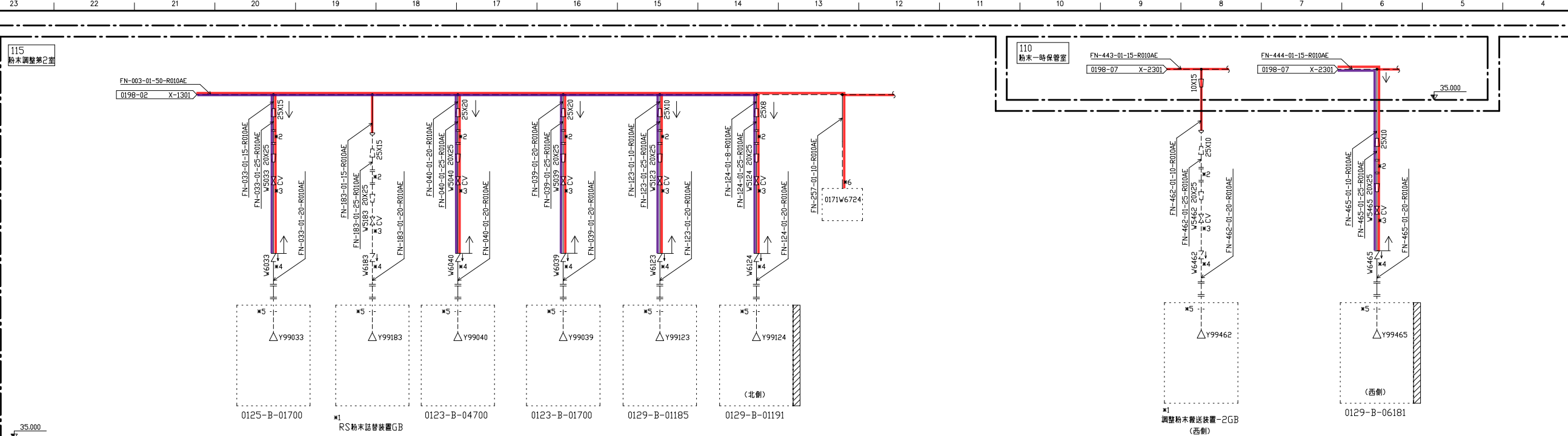
注記


- *1 将来設置
- *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- *5 GB給気口の近傍に設置する。
- *6 ビストンダンパ用専任配管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）



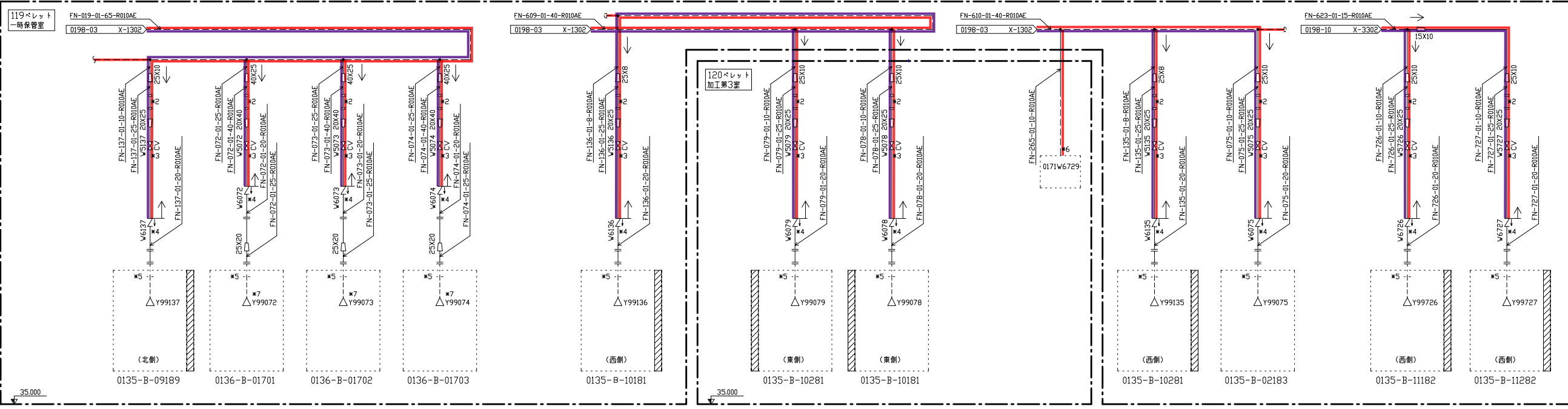
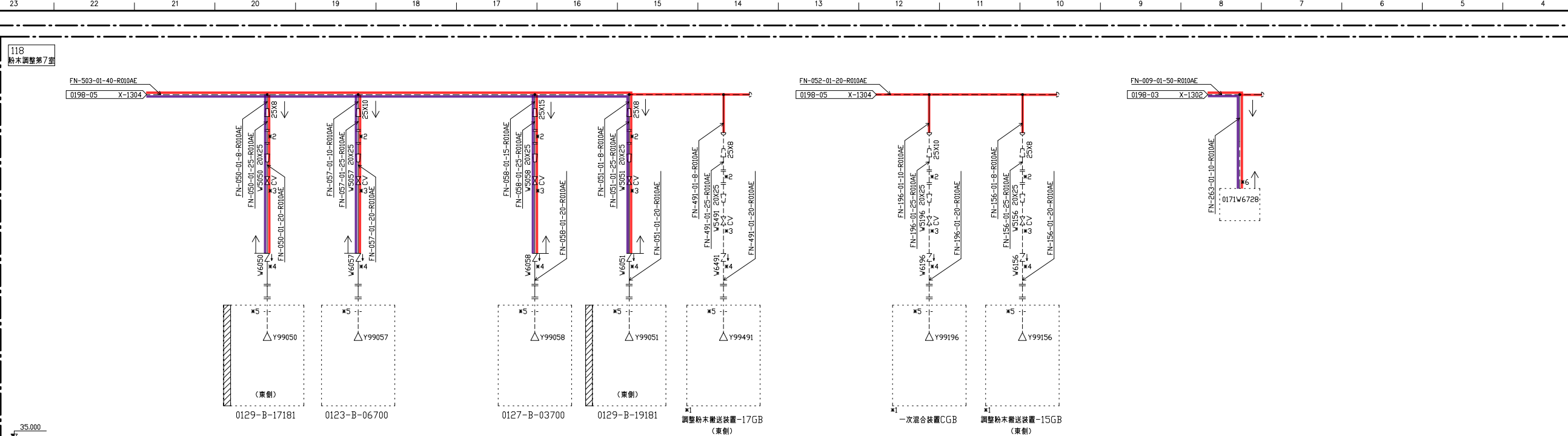
図書名 燃料加工建屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置
エンジニアリングフロア
工程: 0198 (GB) (17/31)

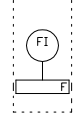
図番 PM-0198-4421-017 改訂 10



- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ビストンポンプ用導圧配管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部～PDI取り合い部まで）

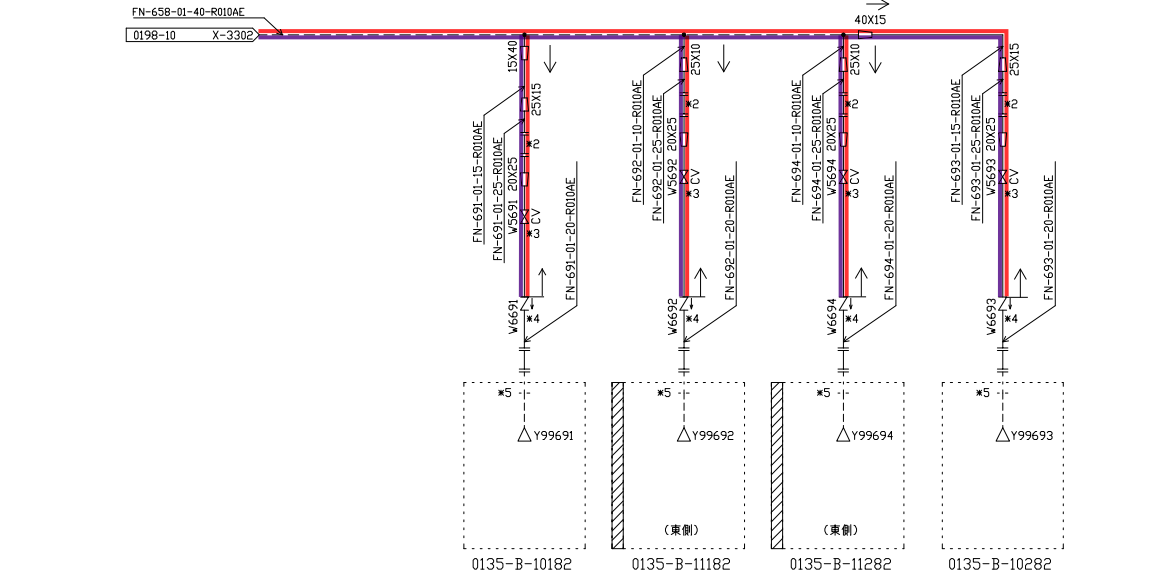
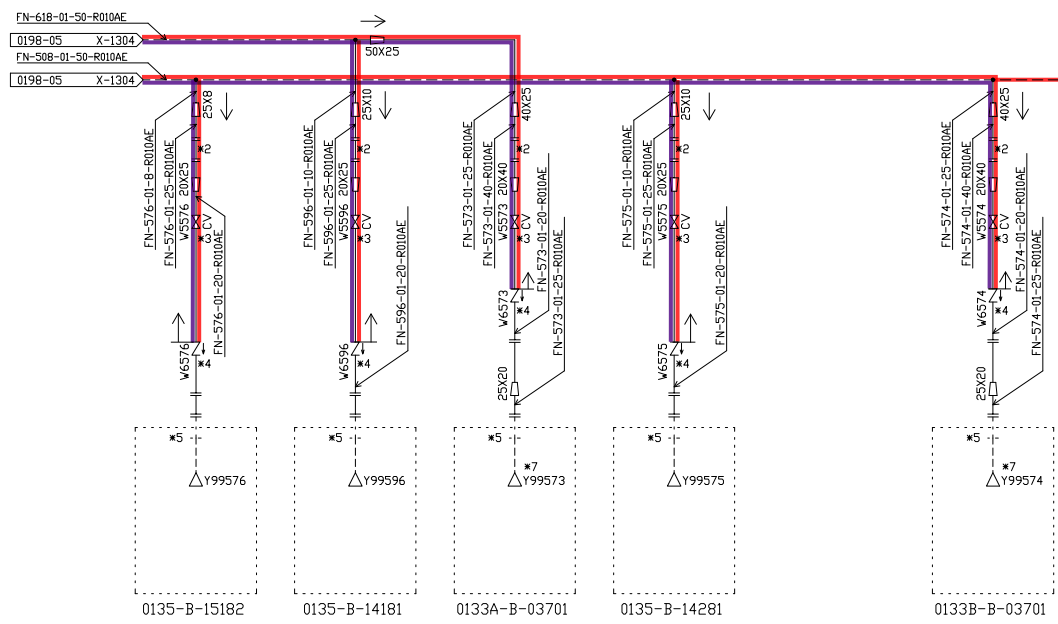
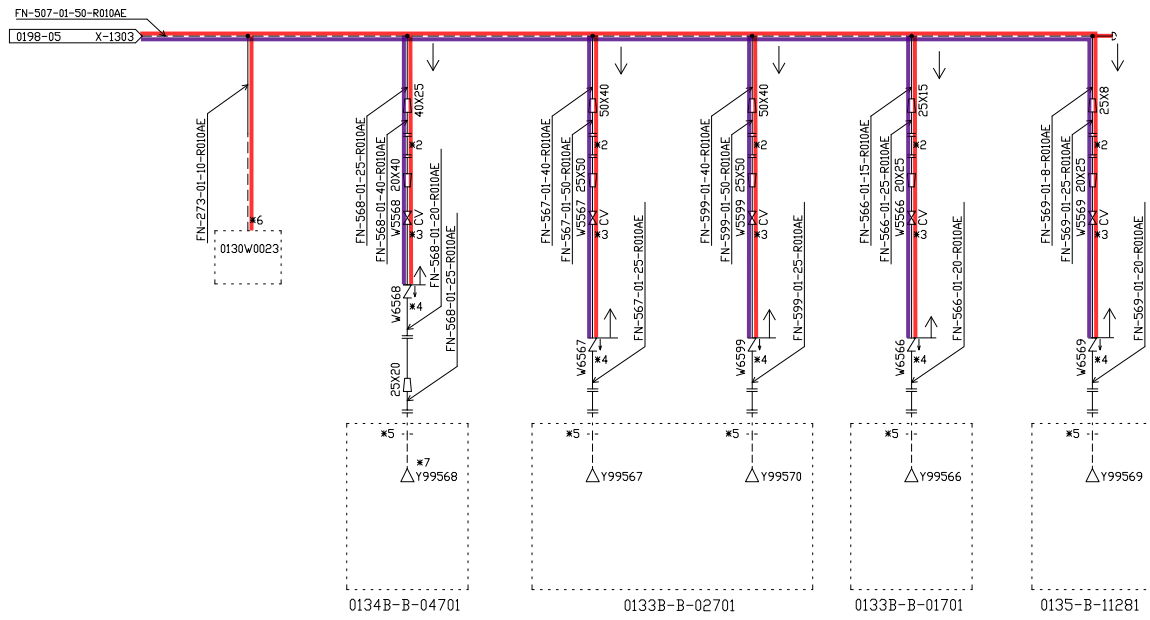
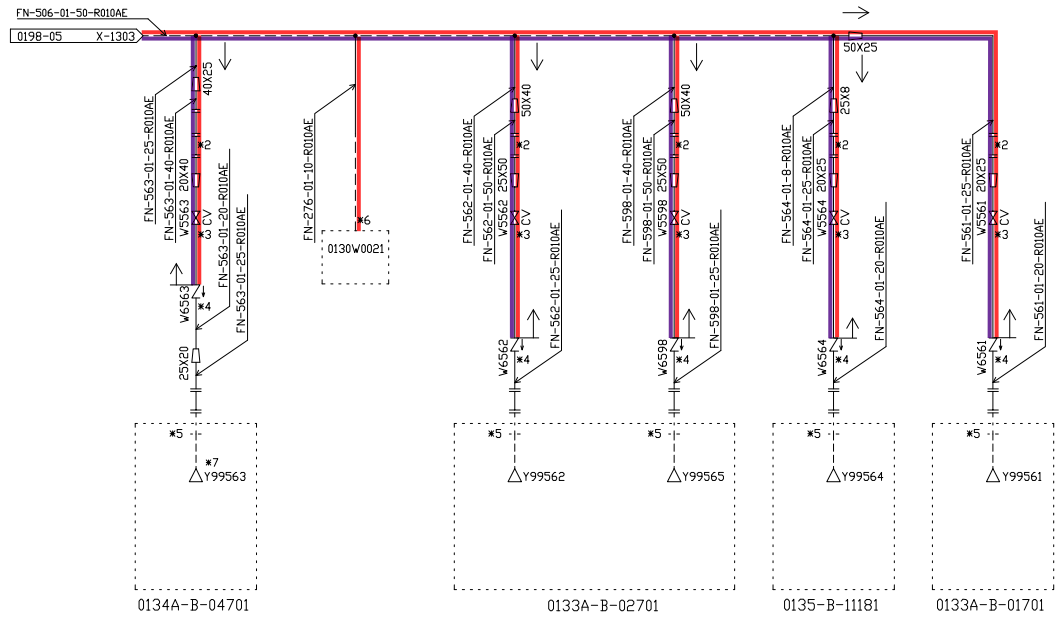
図名	燃料加工種番 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 防火装置
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (18/31)
図番	PM-0198-4421-018
改訂	10



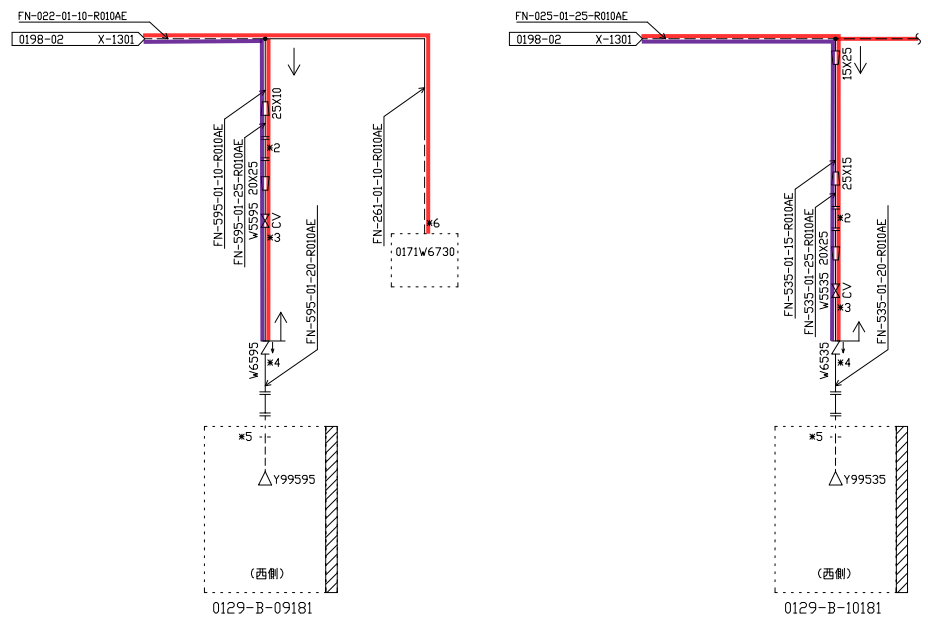
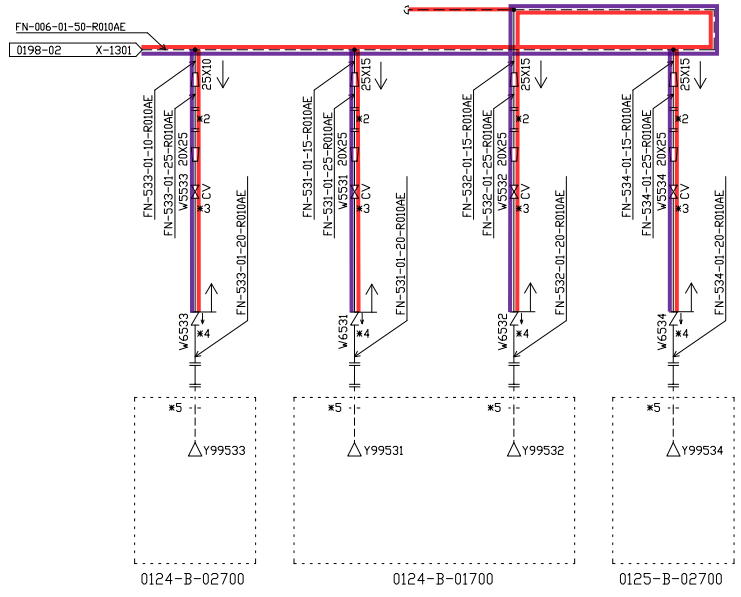
- 注記
- ※1 将来設置
 - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- 
- ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
 - ※6 ピストンガンパイ専用圧管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
 - ※7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

図書名称	燃料加工種屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置 エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (19/31)		
※先頭図書番号	PM-0198-4421-019	改訂	12

120プレート
加工第3室

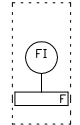


121
粉末調整第4室



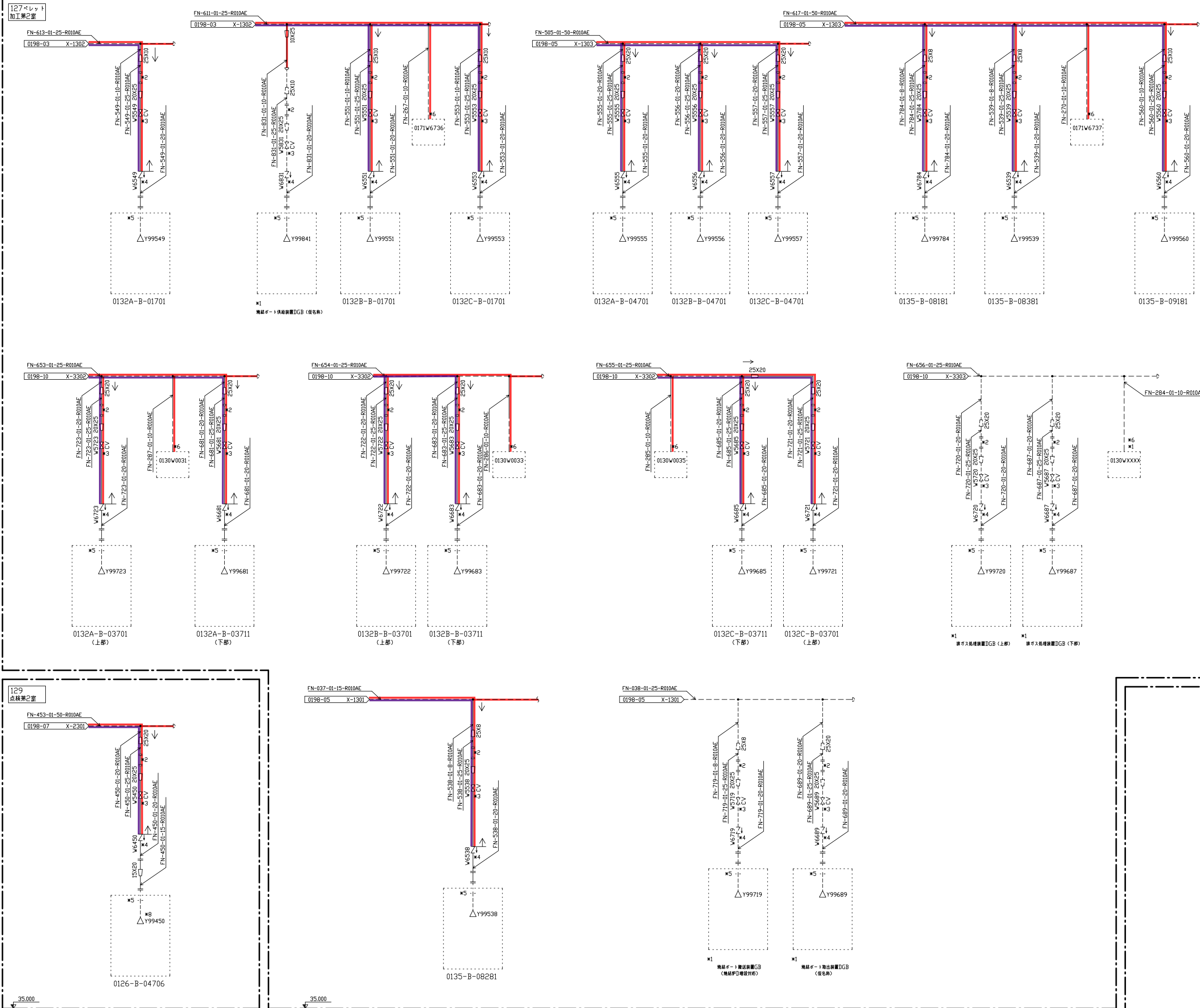
注記

- *1 付帯設置
- *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- *5 GB給気口の近傍に設置する。
- *6 ピストンダンパ用導管。
実線：SUS管(分岐部〜PD近傍の末端部まで)
破線：銅管(PD近傍の末端部〜PD取り合い部まで)
- *7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

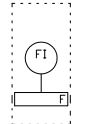


図番名 燃料加工種番 (PA)
ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (PA)
エンジニアリングフロー図
工程: 0198 (GB) (20/31)

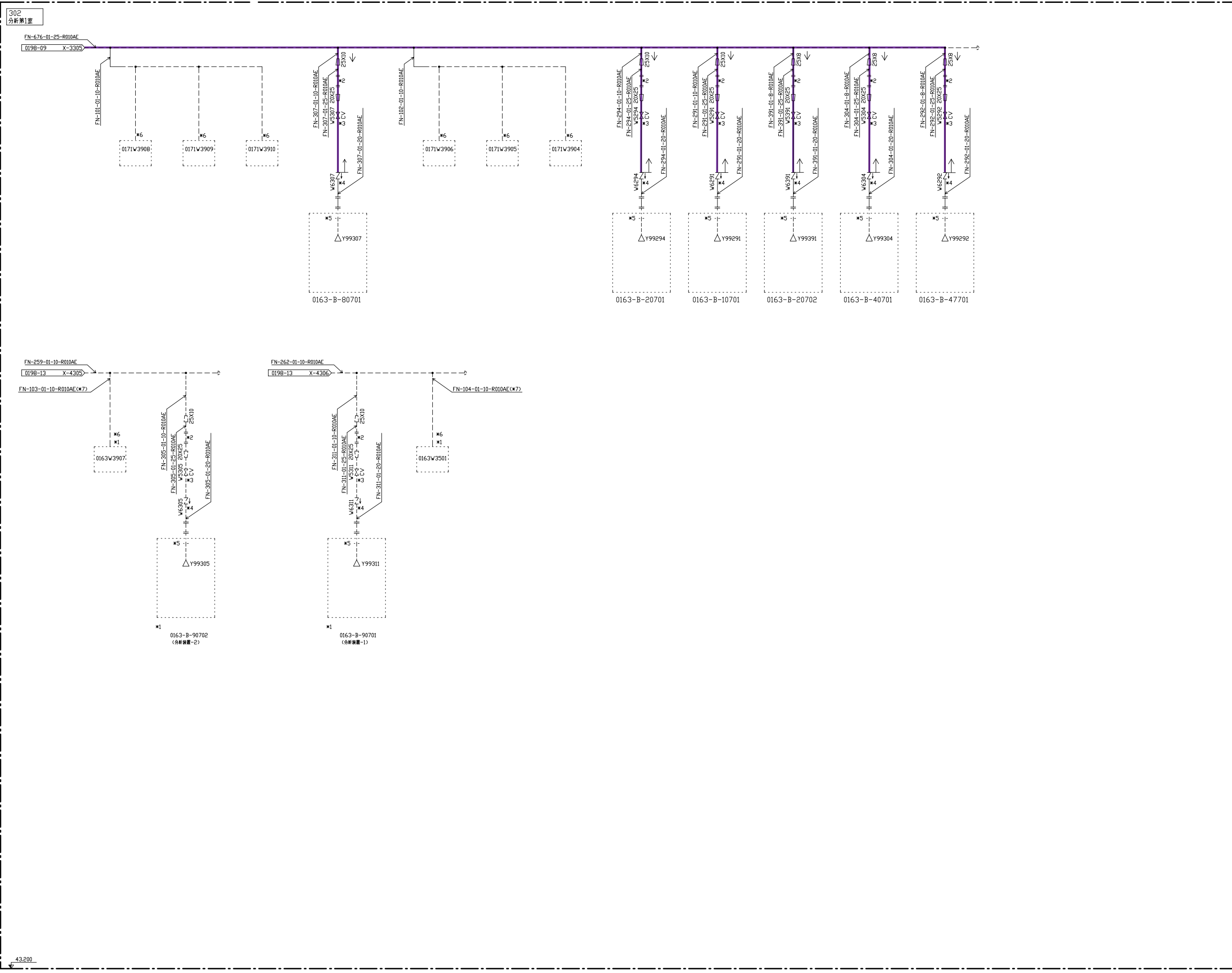
図番 PM-0198-4421-020 改訂 12



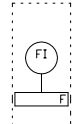
- 注記
- *1 符表設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用導圧管。
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 短管部。
 - *8 20Aの噴射ヘッドを設置する。



図番名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB) 消防装置		
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (22/31)		
客先図番	PM-0198-4421-022	表訂	13

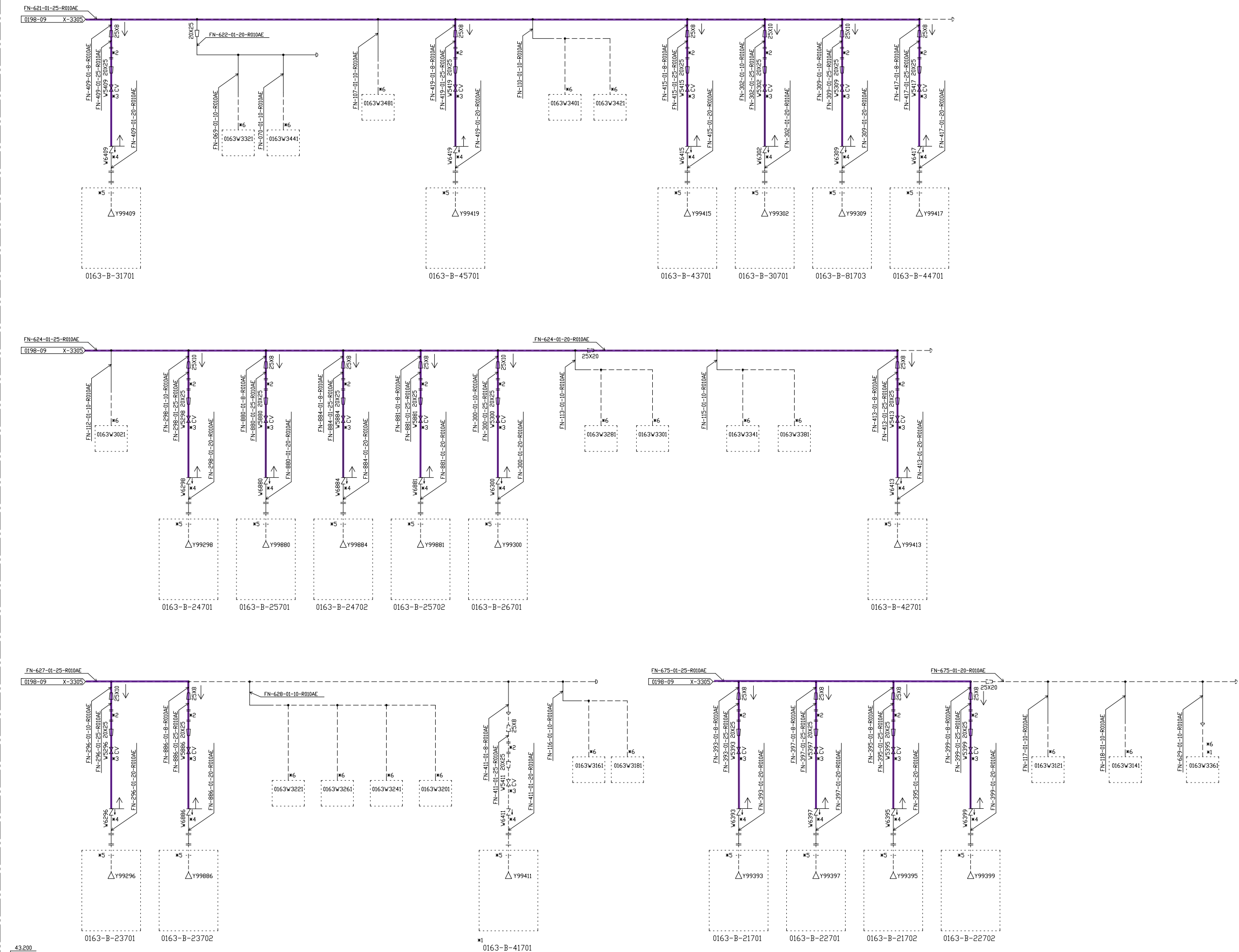


- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンガン専用導管。
実線：SUS管(分岐部に設置された短管の末端部まで)
破線：銅管(短管の末端部~P.D取り合い部まで)
 - *7 短管部。

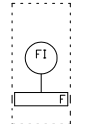


図書名称	燃料加工種屋(PA) ユーティリティ設備(Q) 防火設備(GB消火装置) エンジニアリングフロー図 工程:0198(GB)(23/31)		
※先頭圖書番号	PM-0198-4421-023	改訂	10

302
分析第1層

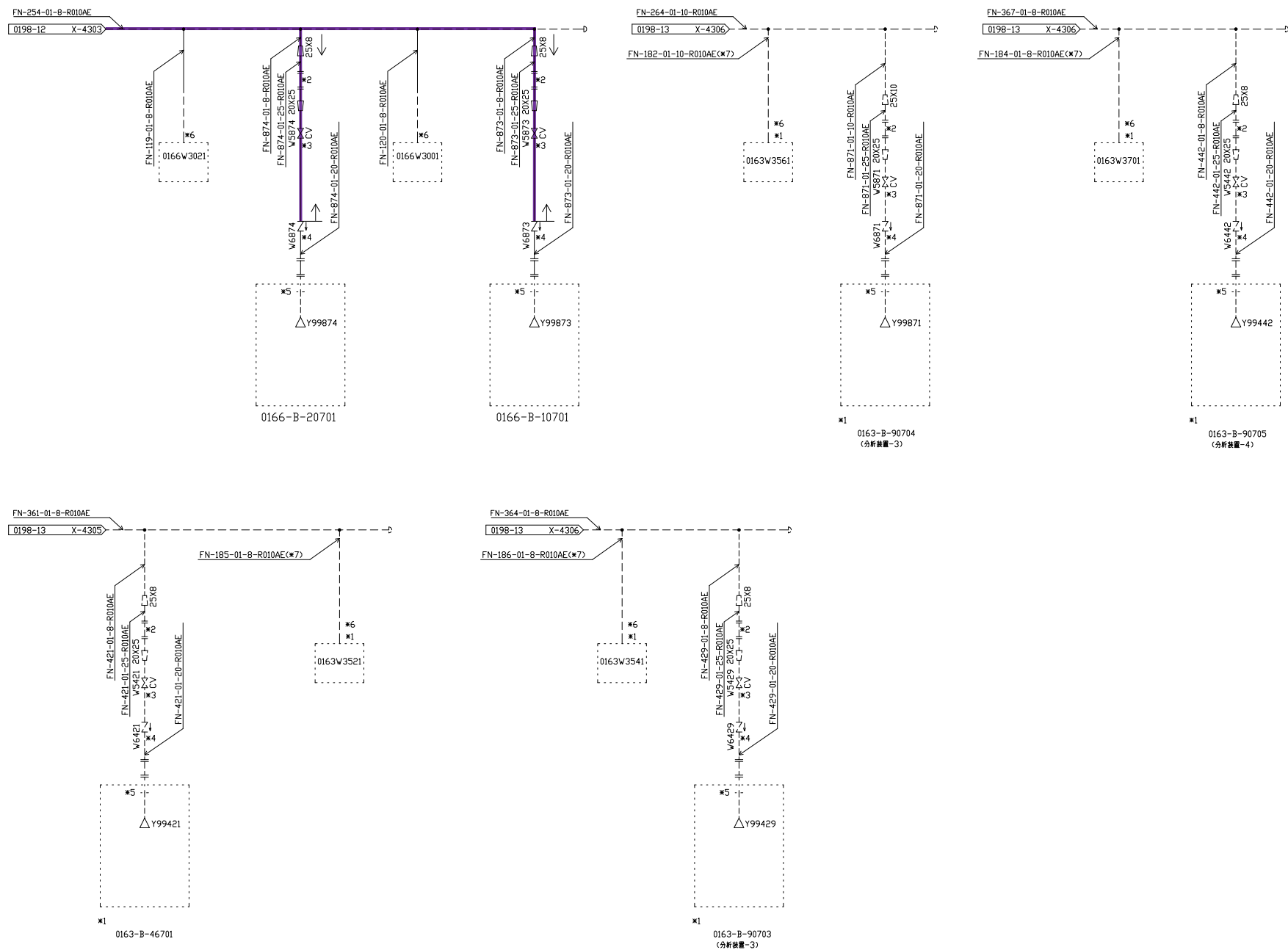


- 注記
- *1 符表設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）

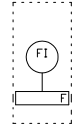


図番名称	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火消火設備 (GB消火装置)
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (24/31)
図番	PM-0198-4421-024
表訂	13

302
分析第1室

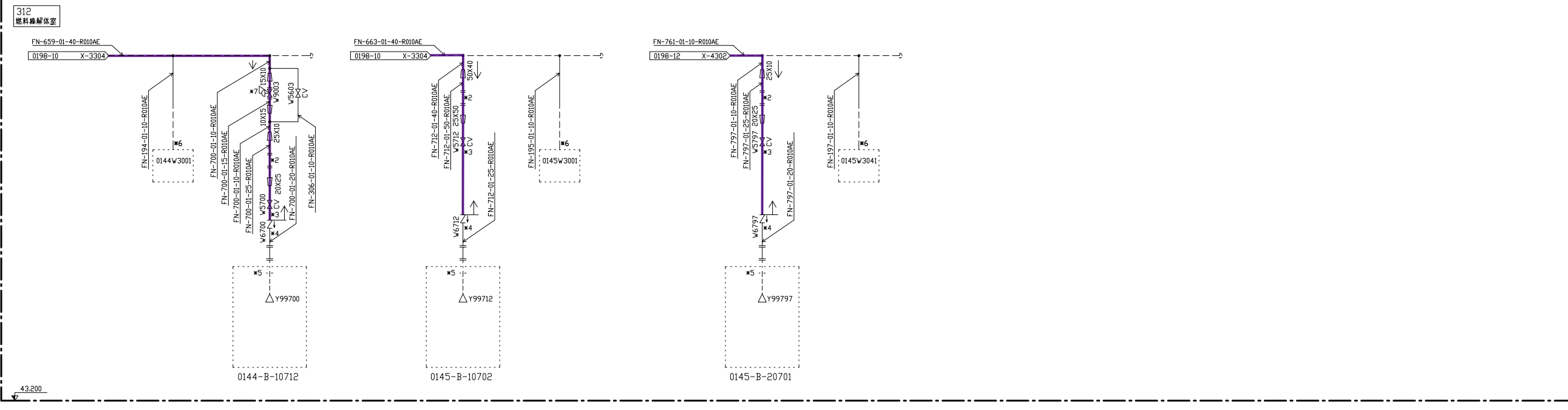


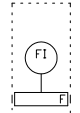
注記

- *1 符表設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ビストンダンパ用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 短管部。

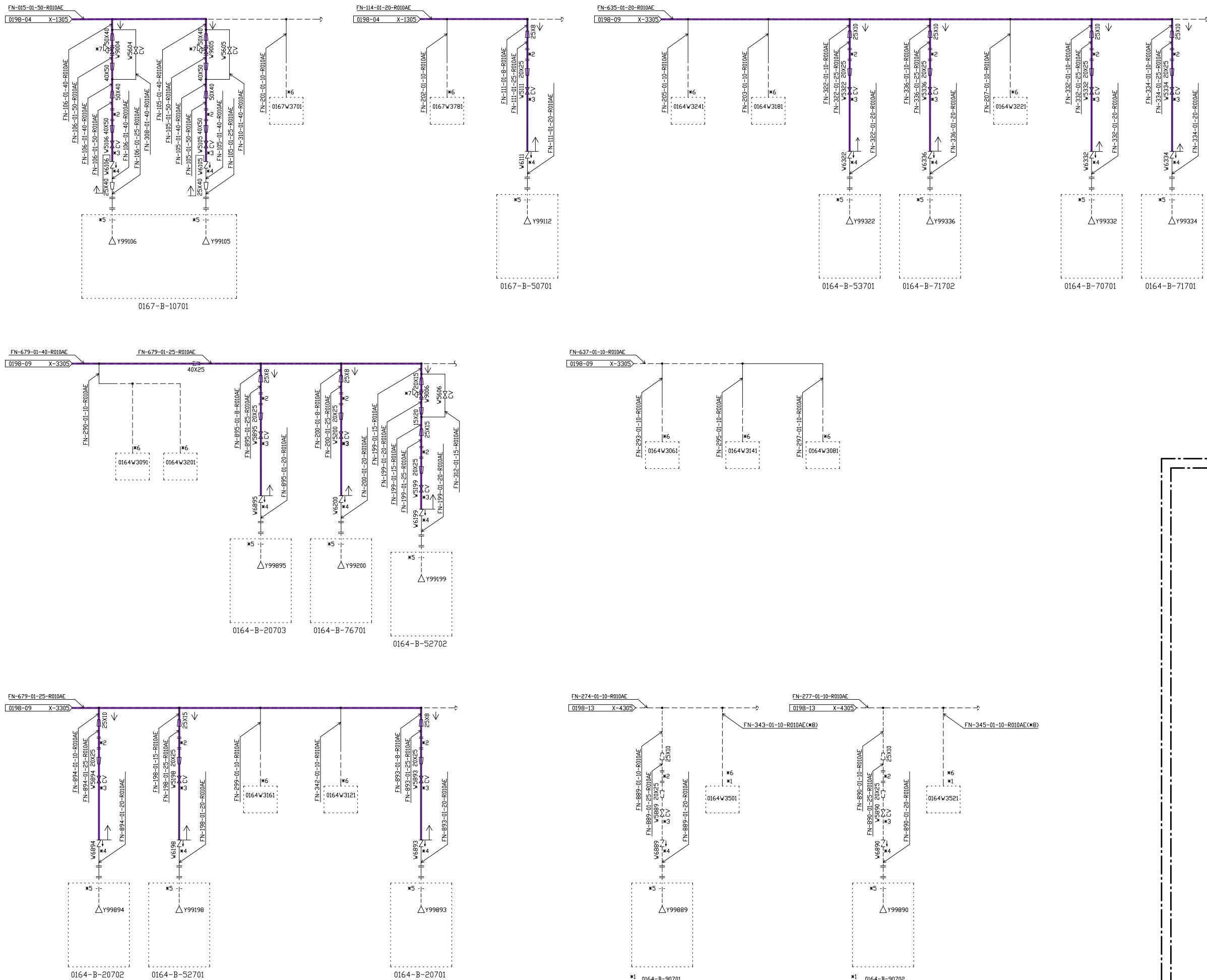
43,200


図番名称	燃料加工建屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB) 消防装置		
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (25/31)		
図面番号	PM-0198-4421-025	改訂	11



- 注記
- *1 符表設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ビストンガンバ用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 非安重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。

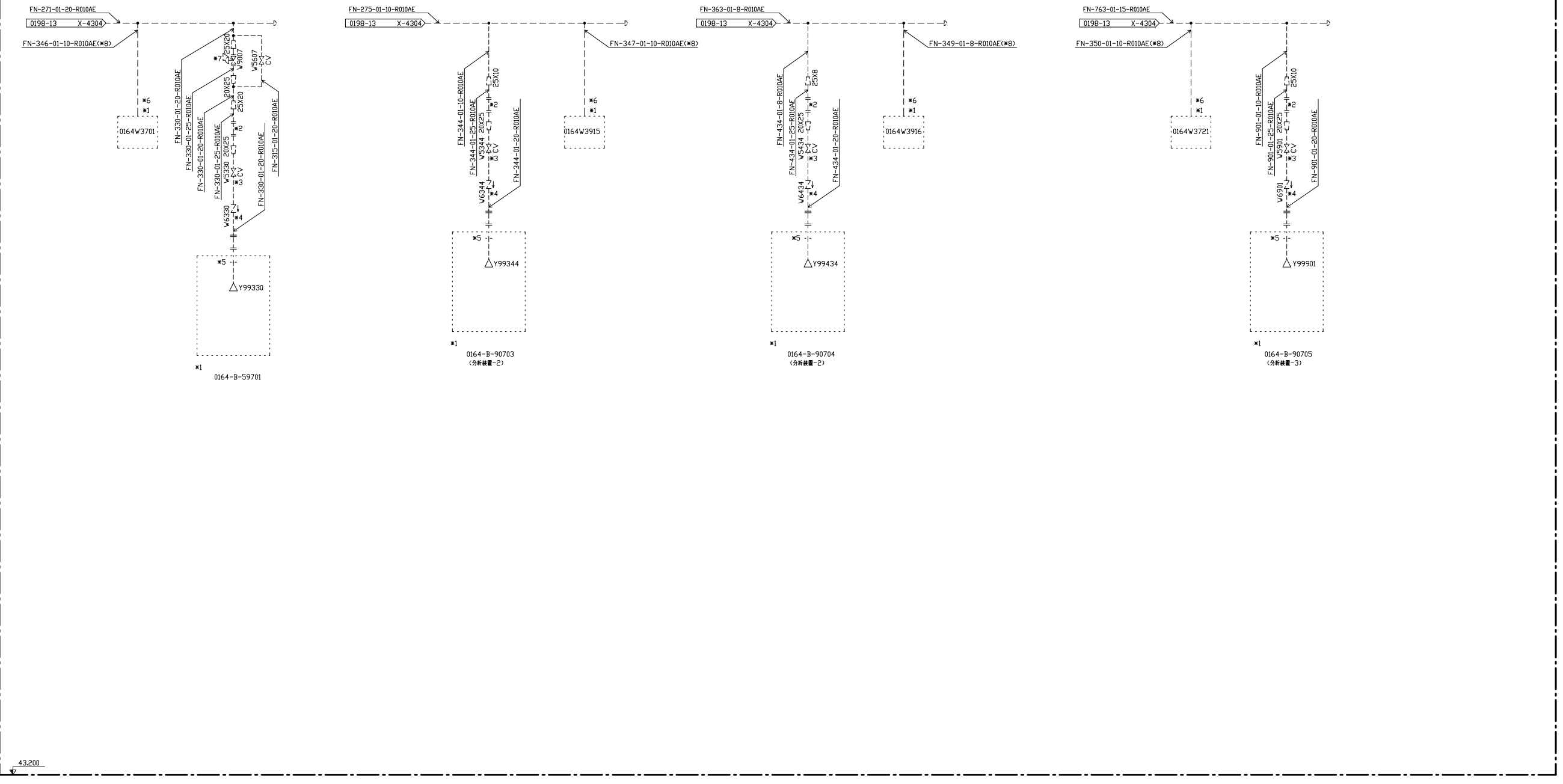
図書名称	燃料加工建屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 防消火設備 (GB消火装置)		
	エンジニアリングタワー		
	工程: 0198 (GB) (26/31)		
客先図番	PM-0198-4421-026	改訂	14

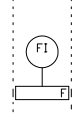


- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け、通常時は流量計を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用専任管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 非安重GBでGB排気系ファ、ルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
 - *8 短管部。

図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防装置 (GB) 消防装置 エンジニアリングタワー 工程: 0198 (GB) (27/31)		
図号	PM-0198-4421-027	改訂	13

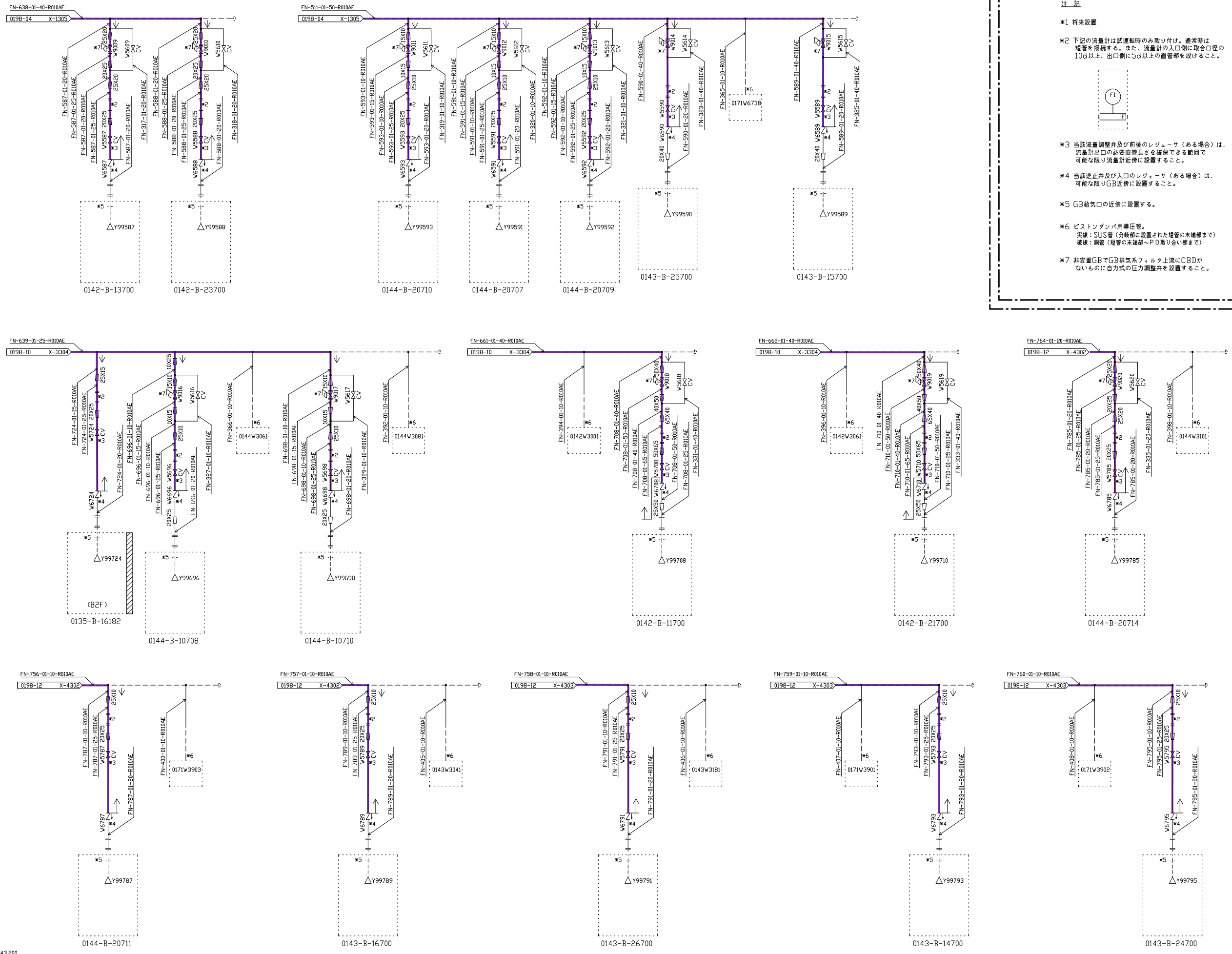
313
分析装置



- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- *3 当該流量計調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンポンプ用導圧管。
銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
 - *7 非安置GBでGB排気系フィルク上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
 - *8 短管部。
SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）

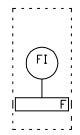
図番名称	燃料加工建屋 (PA)	
	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置)	
	エンジニアリングタワー	
	工程: 0198 (GB) (28/31)	
客先図番	PM-0198-4421-028	改訂 12

314燃料線
加工第1巻

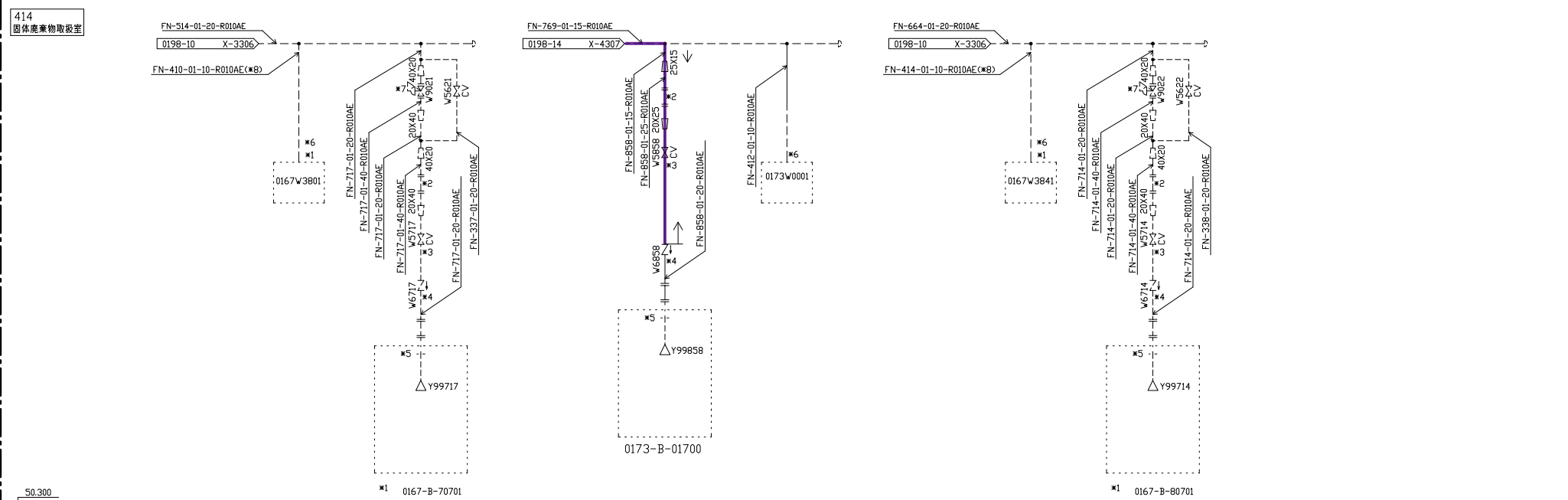


注記

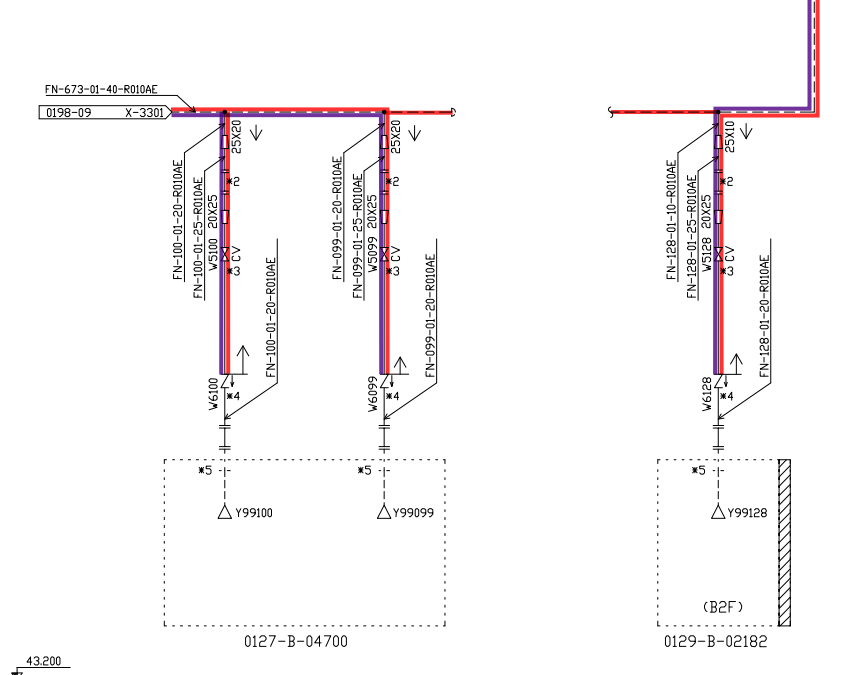
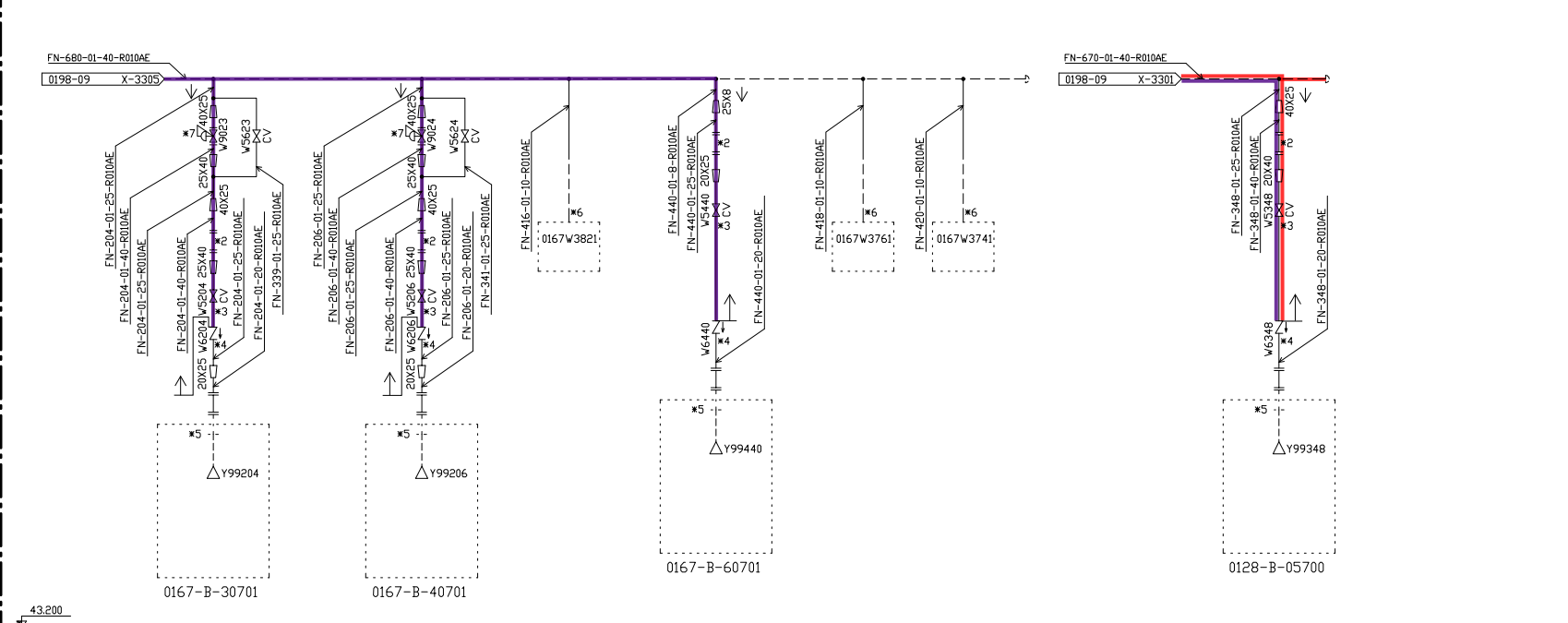
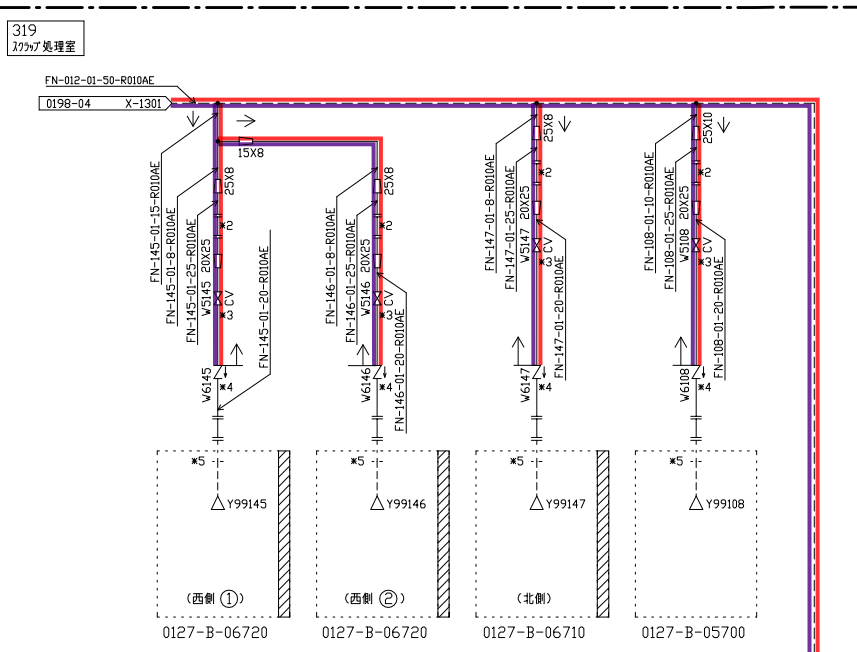
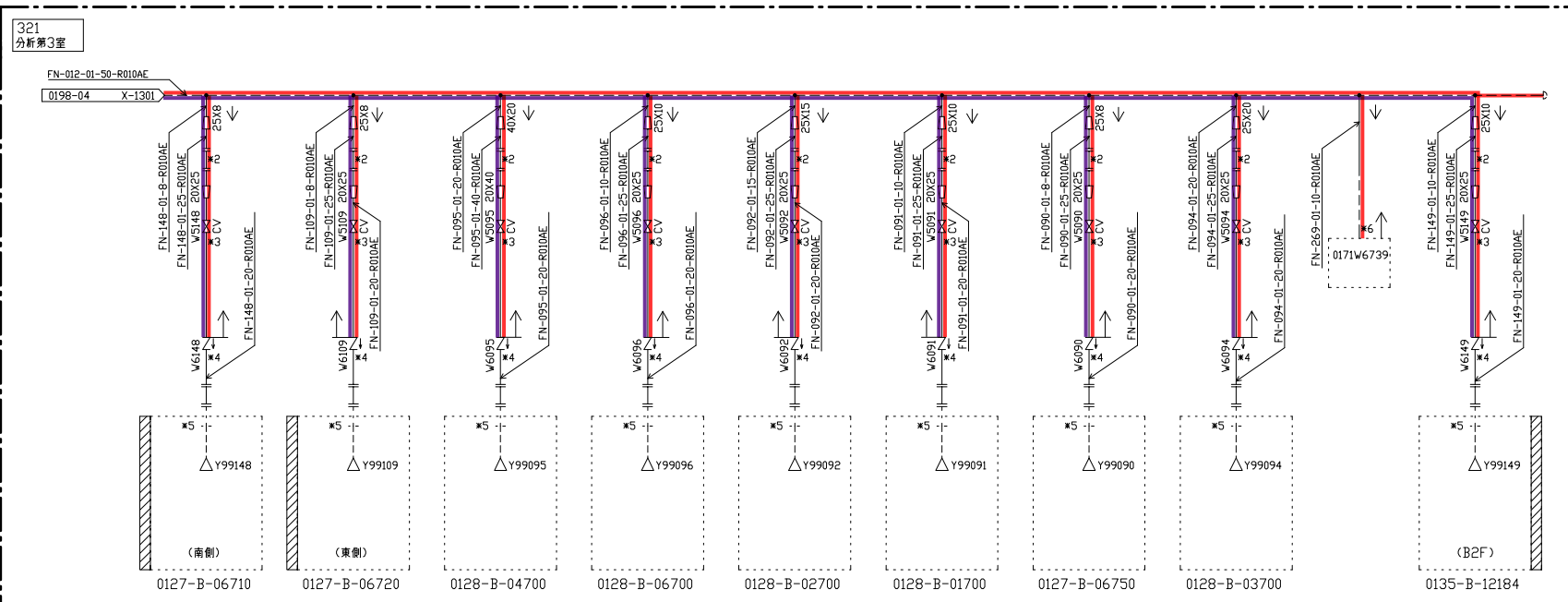
- ※1 将来設置
- ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- ※5 GB給気口の近傍に設置する。
- ※6 ピストンダンパ用導圧管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の先端部まで）
破線：銅管（短管の先端部～PD取り合い部まで）
- ※7 非安全重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。



図番名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロア回 工程: 0198 (GB) (30/31)		
※先頭図番	PM-0198-4421-030	改訂	13



- 注記
- *1 将来設置
 - *2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
 - *3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
 - *4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
 - *5 GB給気口の近傍に設置する。
 - *6 ピストンダンパ用圧接管。
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）
破線：銅管（短管の末端部〜PD取り合い部まで）
 - *7 非防爆GBでGB非気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
 - *8 短管部。



図名	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消防装置
エンジニアリングフロア	エンジン
工程	0198 (GB) (31/31)
図番	PM-0198-4421-031
改訂	13

関連する基本設計方針（別紙2）

11 条：火災等による損傷の防止

29 条：火災等による損傷の防止

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回			第2回申請			第3回申請			第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項新規①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象
8	火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)として、3時間耐火に設計上必要な15mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火耐久試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離するとともに、ファンネルには、他の火災区域又は火災区域からの煙の流入防止を目的として、煙等流入防止装置を設置する設計とする。	機能要求② 設置要求	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	設計方針 (火災区域の設定) 設計方針 (影響軽減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	また、焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気流入を防止するため、熱的制限値を設定し、温度制御装置により焼結時の温度を制御するとともに、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計とする。	機能要求②	過加熱防止回路	設計方針 (発生防止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
99	a. 消火設備の消火剤の容量 消火設備は、想定される火災の性質に応じた容量として、消防法施行規則及び試験結果に基づき算出した消火剤容量を配備する。	機能要求②	消火設備	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100	ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置(グローブボックス消火装置)については、グローブボックスの総気量に対して95%の消火ガスを放出するとともに、消火ガス放出開始から5分で放出を完了できる設計とする。 また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、その放出単位の総気量の合計値に対して95%の消火ガスを放出するとともに、消火ガス放出開始から5分で放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する。	設置要求 機能要求②	消火設備 GB消火装置	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
101	消火用水供給系の水源は、消防法施行令及び危険物の規制に関する規則に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。 また、緊急時対策建屋の消火用水供給系の水源は、消防法施行令に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。	機能要求②	消火設備	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
102	b. 消火設備の系統構成 (a) 消火用水供給系の多量性及び多様性 消火用水供給系の水源として、ろ過水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))及び消火用水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を設置し、双方からの消火用水の供給を可能とすることで、多量性及び多様性を有する設計とする。 緊急時対策建屋の消火用水供給系の水源は、消火水槽、建屋近傍に防火水槽を設置し、双方からの消火用水の供給を可能とすることで多量性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
103	消火用水系の消火ポンプは、必要量を送水可能な電動機駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))に加え、同等の能力を有する異なる駆動方式であるディーゼル駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を1台ずつ設置することで、多量性を有する設計とする。また、消火装置内に加圧配管を保持するため、機軸の同一故障を想定し、圧力調整用消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を2基設ける設計とする。 また、緊急時対策建屋の消火ポンプは電動機駆動消火ポンプを2台設置することで、多量性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備 圧力調整用消火ポンプ、 ディーゼル駆動消火ポンプ、 電動機駆動消火ポンプ	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
130	(a) 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離 系統分離し配置している火災防護上の系統分離対策を講じる装置機能を有する機器等は、火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を確認した、耐火壁で系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求② 評価要求	施設共通 基本設計方針 (GB排風機、非常用発電機が敷設される区域—又は当該ケーブルトレイに対して実施)	基本方針 設計方針 (影響軽減) 評価方法 (影響軽減) 評価 (影響軽減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
131	(b) 水平距離6m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備は、水平距離間には設置するものを含め可燃性物質が存在しないようにし、系列間を6m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、火災感知設備、消火設備(窒素消火装置)	基本方針 設計方針 (影響軽減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
132	(c) 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	基本方針、非常用発電機(燃料移送ポンプ)、火災感知設備、消火設備(二酸化炭素消火装置)	基本方針 (影響軽減) 設計方針 (影響軽減) 評価方法 (影響軽減) 評価 (影響軽減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
134	(b) 中央監視室床下の影響軽減対策 中央監視室の床下に設置しては、「3時間以上の耐火能力を有する隔壁等で分離された設計」、「互いに相違する系列間の水平距離が6m以上あり、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」、又は「1時間の耐火能力を有する隔壁等で互いの系列間を分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機及び非常用発電機の系統、火災感知設備、窒素消火装置	基本方針 (影響軽減) 設計方針 (影響軽減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○